

2. 日中の活動や外出状況について

身体障害のある人、精神障害のある人、学校を卒業した難病患者は日中、自宅で過ごす人や職場で過ごす人が多いのに対し、知的障害のある人と学校を卒業した発達障害のある人は障害・介護サービス事業所で過ごす人が多くなっています。障害のある子どもでは、就学前は保育園・幼稚園や通園施設に行く人が多く、在学中は特別支援学校に行く人が多くなっています。在学中の発達障害のある人では、小・中学校（特別支援学級）に通っている人が多くなっています。

身体障害のある人、精神障害のある人、障害のある子ども、難病患者は3割強～4割半ばの人が月の半分以上を外出しており、外出頻度の多い傾向にあります。

単独で外出できるケースは、重度の身体障害のある人で3割、重度の知的障害のある人、重度の精神障害のある人、重度の心身障害がある人で1割未満にとどまっています。

外出時に困ったこととして「発作など突然の身体の変化が心配」、「歩道や建物に階段や段差が多いなど配慮が進んでいない」、「公共交通機関の路線が少ない」、「困ったときにまわりの人が助けてくれない」、「公共交通機関の料金割引サービスがないものがあり経費がかかる」が多く挙げられています。

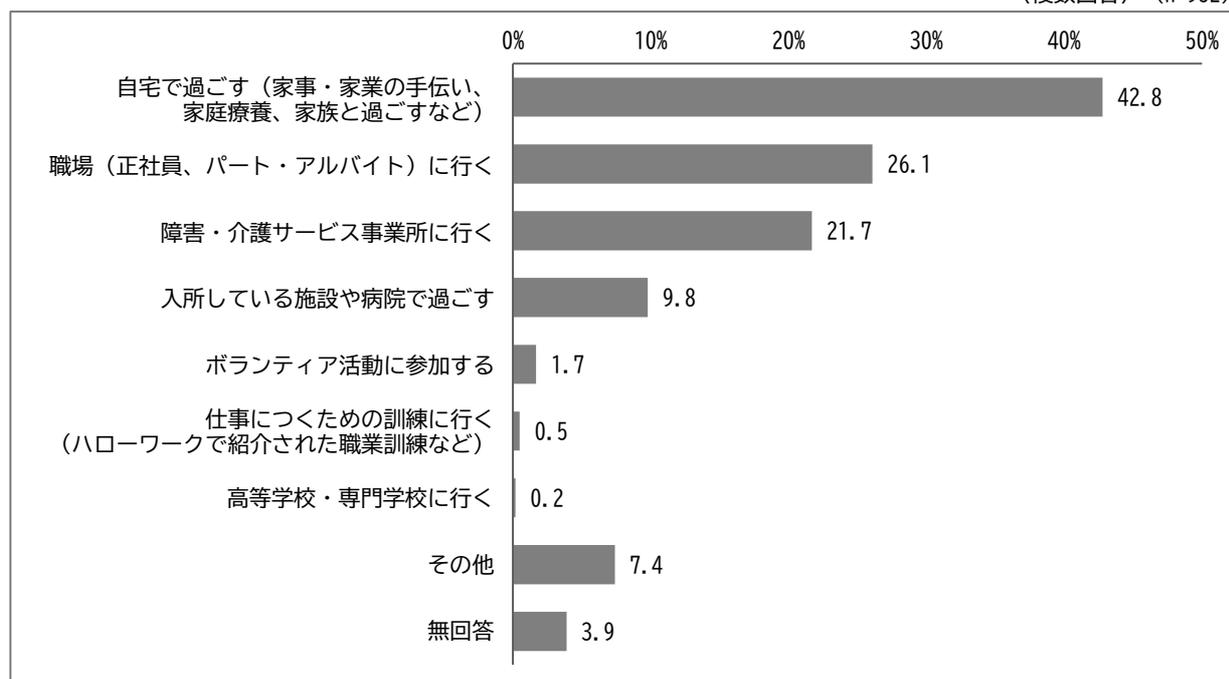
1) 日中の過ごし方

①身体障害のある人

日中の過ごし方は、「自宅で過ごす（家事・家業の手伝い、家庭療養、家族と過ごすなど）」（42.8%）の割合が最も高くなっています。

【日中の過ごし方】

〈複数回答〉（n=952）

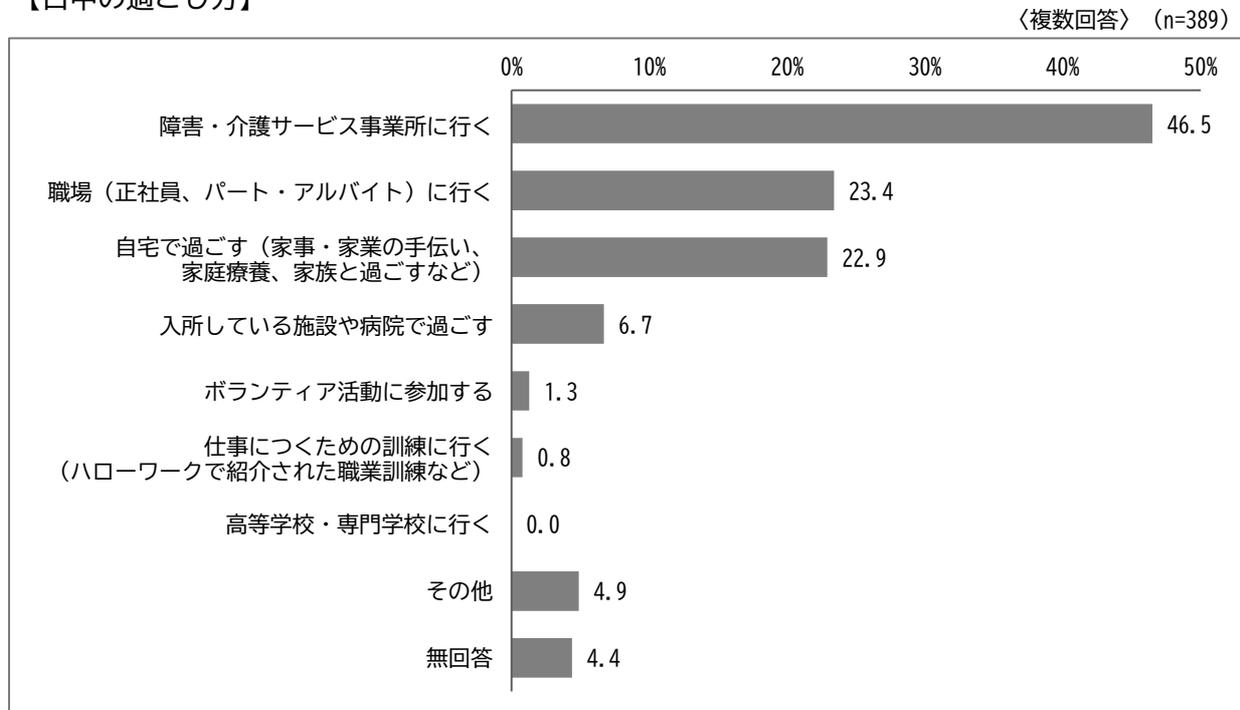


「その他」の具体例 ■買い物 ■散歩 ■農園作業（家庭菜園） ■大学に行く

②知的障害のある人

日中の過ごし方は、「障害・介護サービス事業所に行く」(46.5%)の割合が最も高くなっています。

【日中の過ごし方】

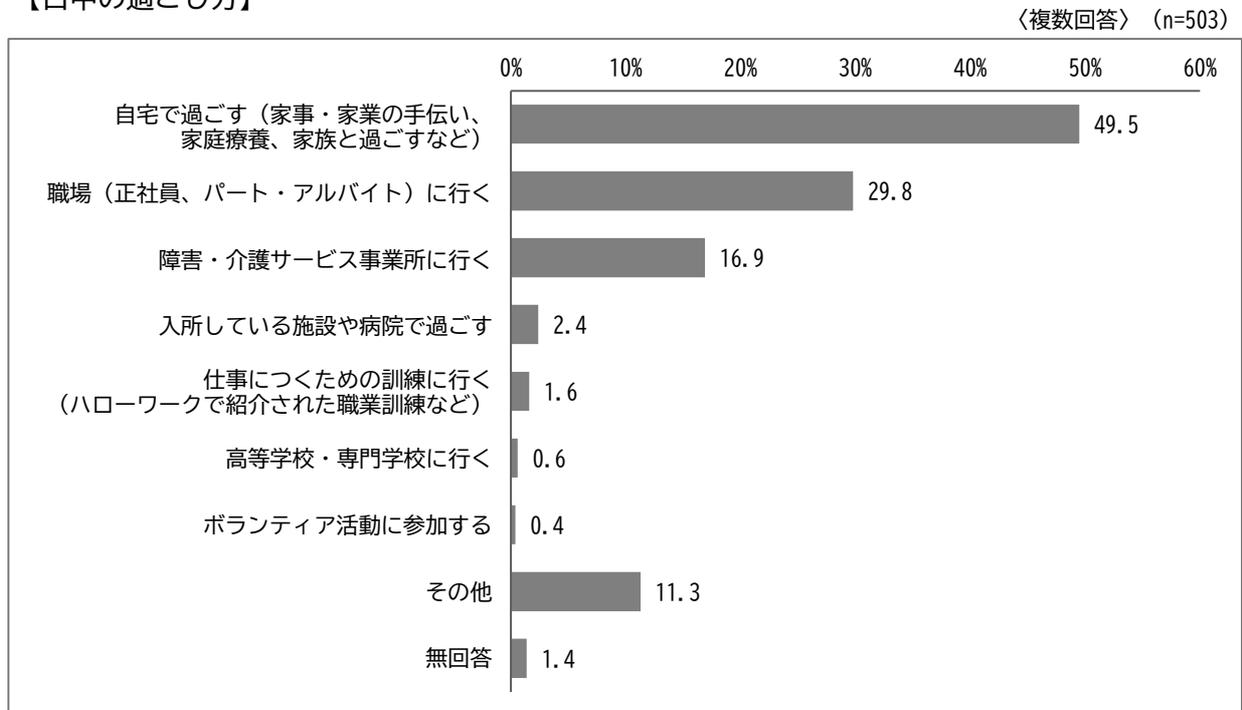


「その他」の具体例 ■買い物 ■散歩 ■ドライブ、アニメ鑑賞、読書鑑賞

③精神障害のある人

日中の過ごし方は、「自宅で過ごす（家事・家業の手伝い、家庭療養、家族と過ごすなど）」（49.5%）の割合が最も高くなっています。

【日中の過ごし方】



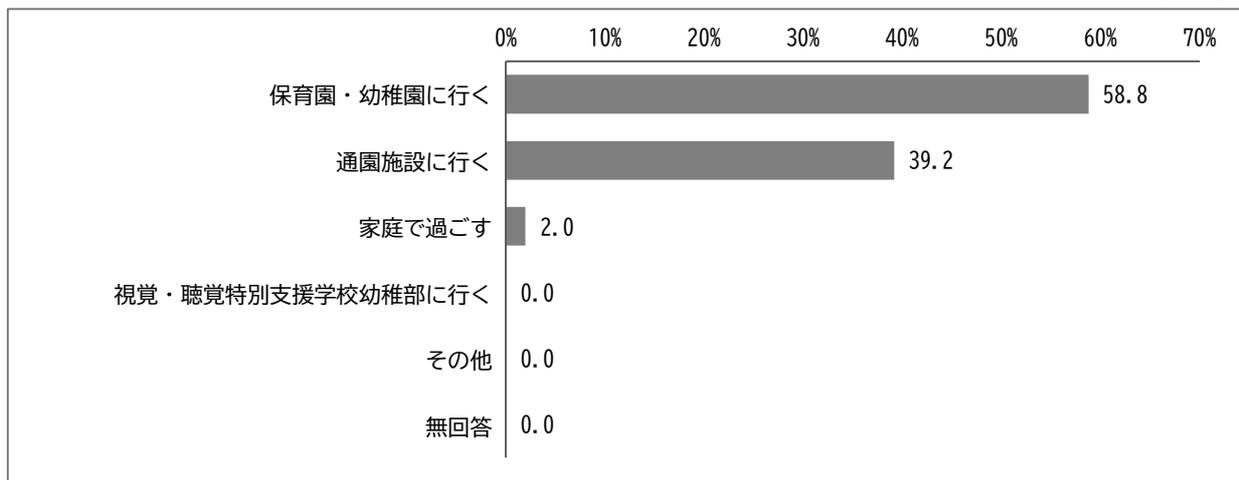
「その他」の具体例 ■買い物 ■家事 ■運動（ジム、ウォーキング等）

④障害のある子ども

就学前の人の日中の過ごし方は、「保育園・幼稚園に行く」(58.8%)の割合が最も高く、在学中の人の日中の過ごし方は、「特別支援学校(小・中・高等部)に行く(訪問教育を含む)」(60.2%)の割合が最も高くなっています。

【日中の過ごし方(就学前)】

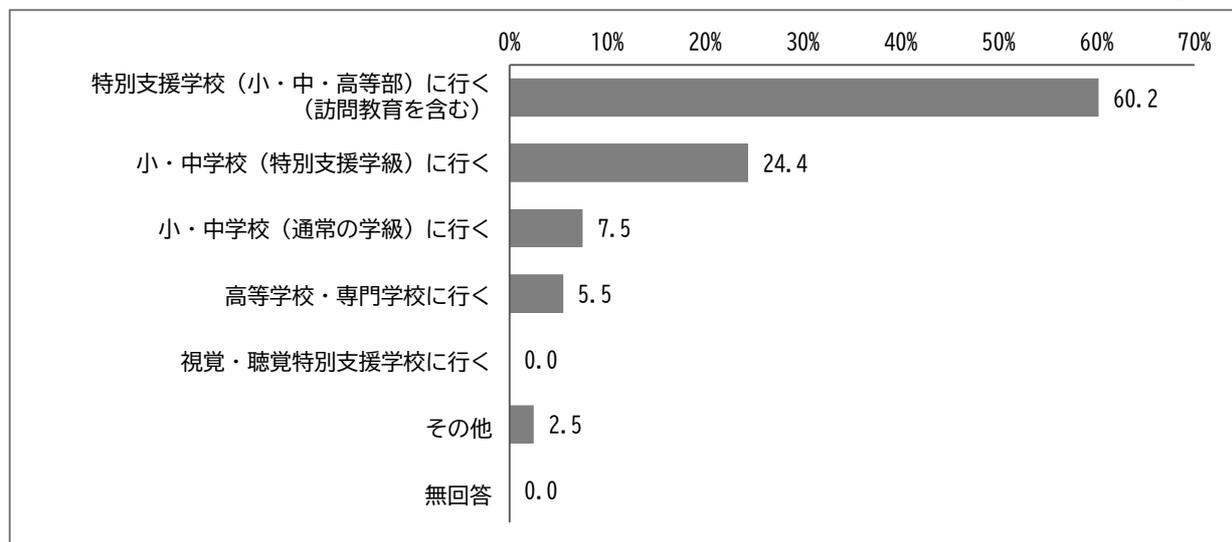
(n=51)



備考) 無回答を除いて集計しています。

【日中の過ごし方(在学中)】

(n=201)



備考) 無回答を除いて集計しています。

「その他」の具体例 ■通常学級だが自宅にてリモート授業

⑤発達障害のある人

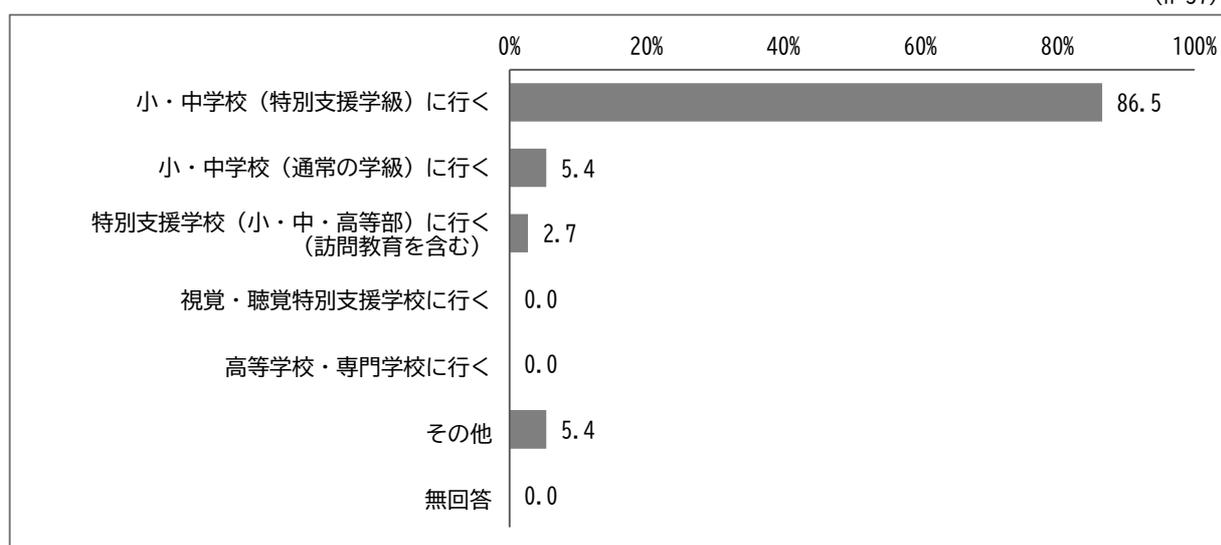
在学中の人の日中の過ごし方は、「小・中学校（特別支援学級）に行く」（86.5％）の割合が最も高く、卒業後の人の日中の過ごし方は、「障害・介護サービス事業所に行く」（62.2％）の割合が最も高くなっています。

【日中の過ごし方（就学前）】

該当者がいないため、グラフ及び分析コメントは省略しています。

【日中の過ごし方（在学中）】

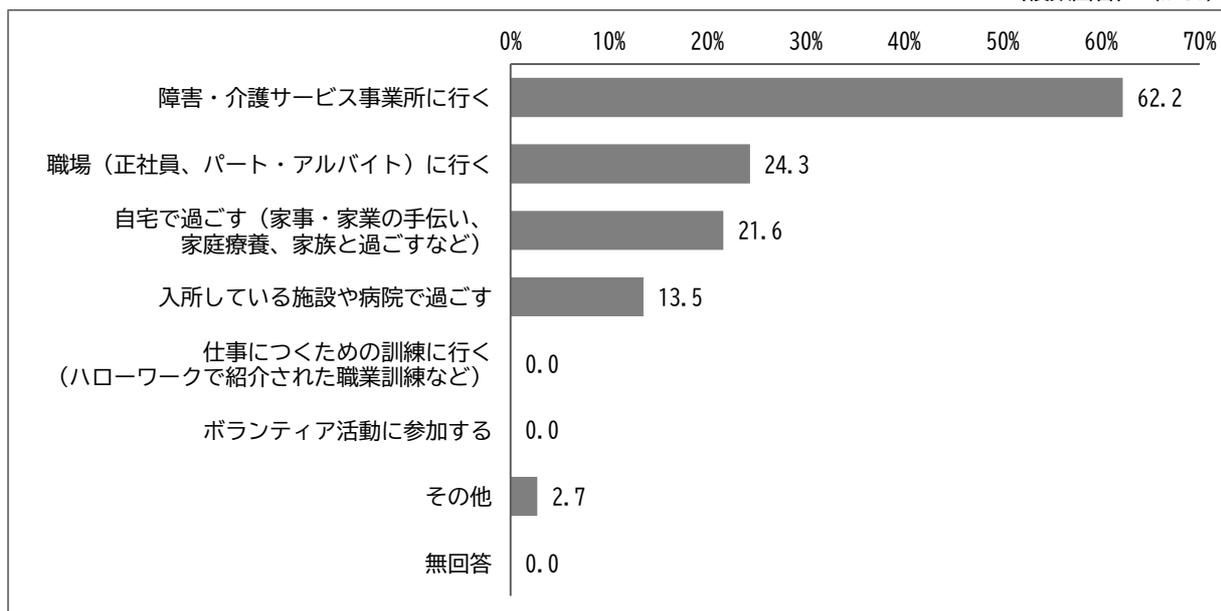
(n=37)



備考）無回答を除いて集計しています。

【日中の過ごし方（卒業後）】

〈複数回答〉 (n=37)



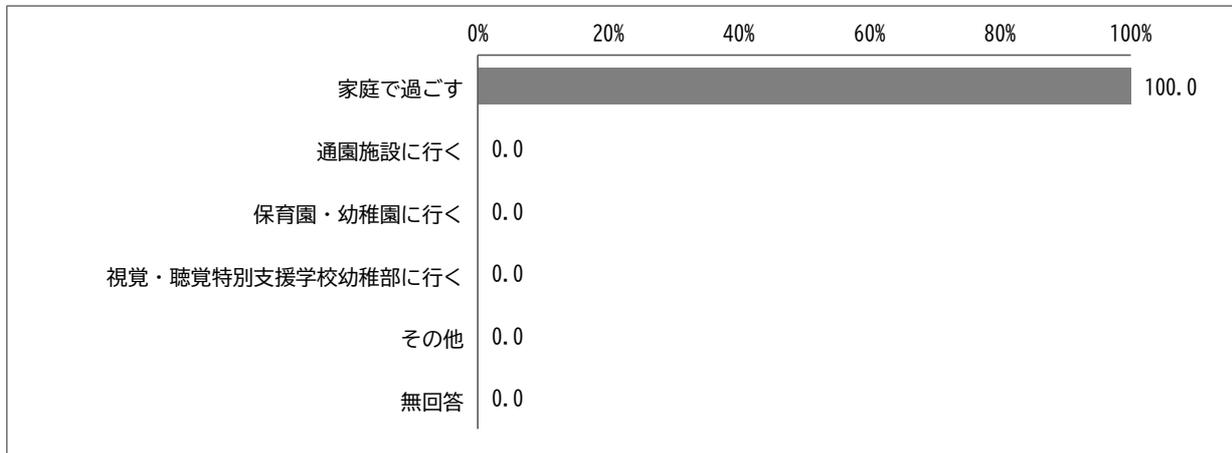
備考）無回答を除いて集計しています。

⑥難病患者

卒業後の人の日中の過ごし方は、「職場（正社員、パート・アルバイト）に行く」（50.9%）の割合が最も高くなっています。

【日中の過ごし方（就学前）】

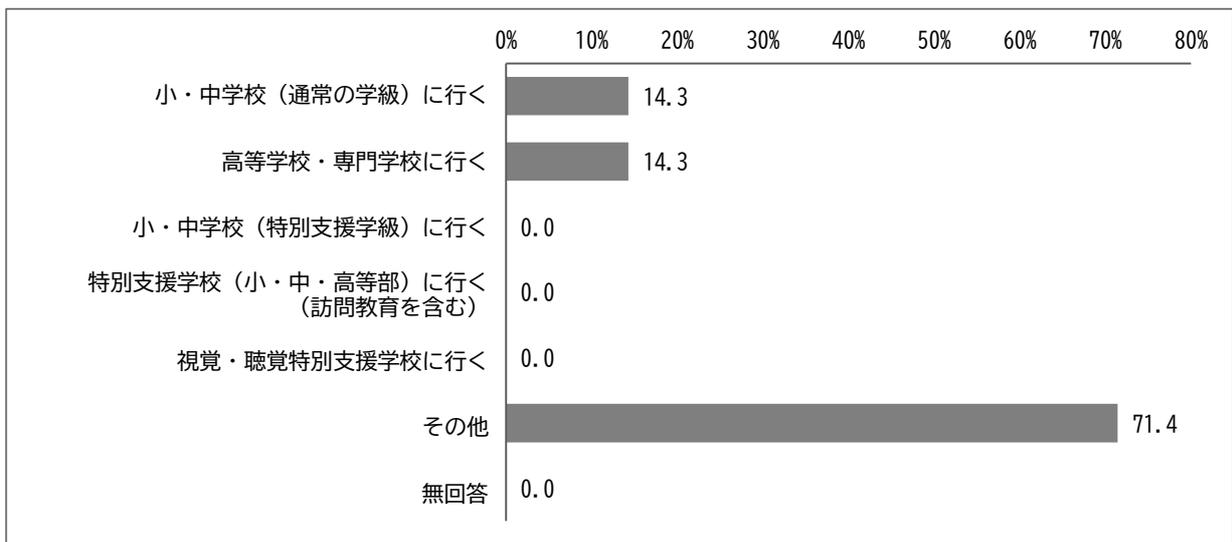
(n=1)



備考) 無回答を除いて集計しています。

【日中の過ごし方（在学中）】

(n=7)

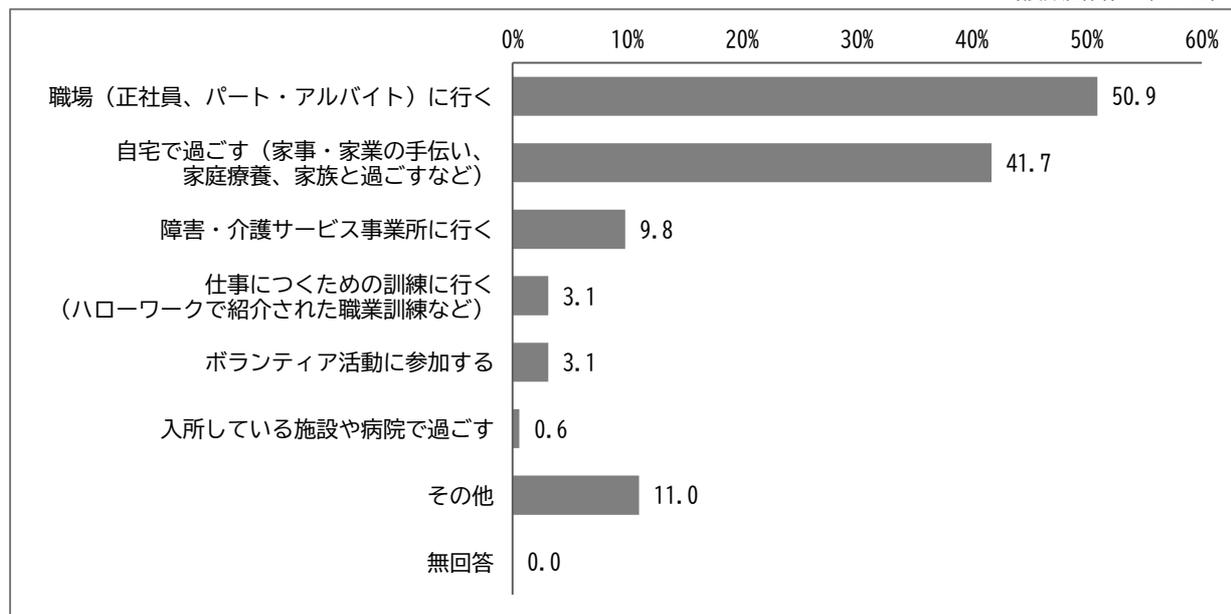


備考) 無回答を除いて集計しています。

「その他」の具体例 ■大学に行く

【日中の過ごし方（卒業後）】

〈複数回答〉 (n=163)



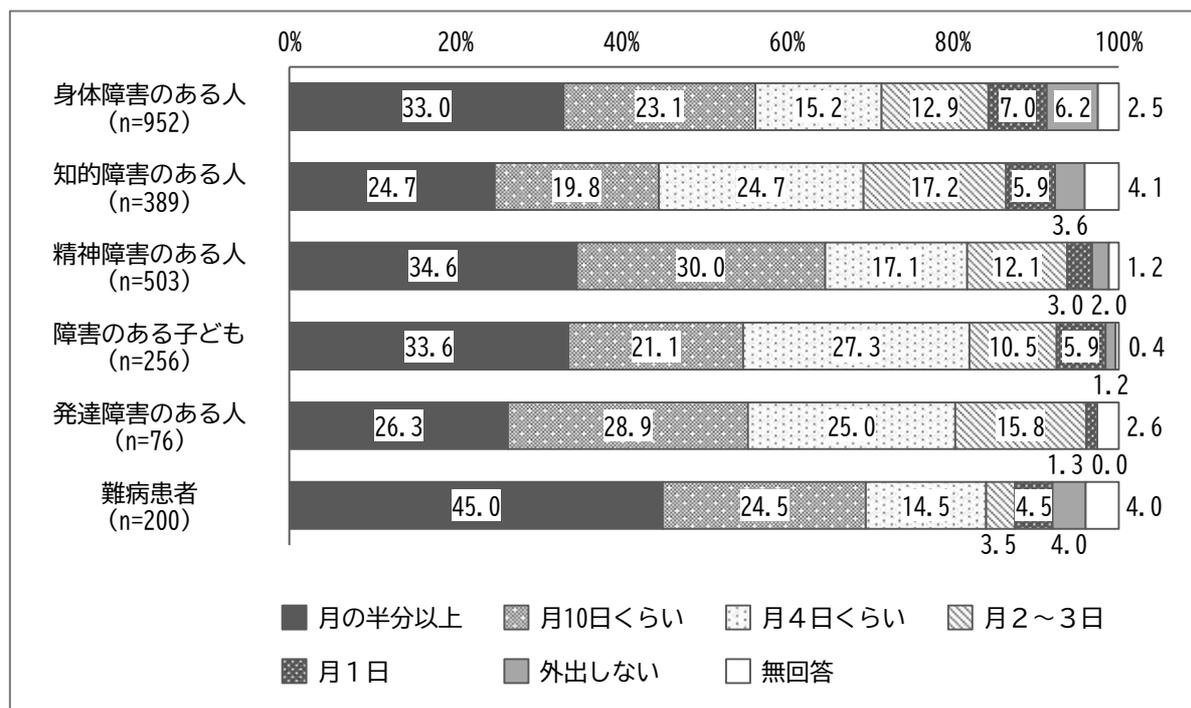
備考) 無回答を除いて集計しています。

「その他」の具体例 ■在宅で仕事を行う ■自治区会・町内会活動

2) 1か月に外出する頻度

1か月に外出する頻度は、身体障害のある人、精神障害のある人、障害のある子ども、難病患者では「月の半分以上」の割合が3割を超えており、難病患者では4割半ばと他の障害種別よりも高くなっています。

【1か月に外出する頻度】



3) 外出するときの手段

外出するときの手段は、身体障害のある人、障害のある子ども、発達障害のある人、難病患者では「自家用車（自分や家族が運転）」の割合が最も高く、障害のある子どもと発達障害のある人では8割半ばを占めています。また、精神障害のある人では「自家用車（自分や家族が運転）」「電車・バス・モノレール」「徒歩・自転車」の割合が5割と最も高くなっています。さらに、知的障害のある人では「電車・バス・モノレール」の割合が5割弱と最も高く、他の障害種別でも「電車・バス・モノレール」の割合は高い傾向にあり、比較的、公共交通機関の利用が多い状況となっています。

【外出するときの手段】

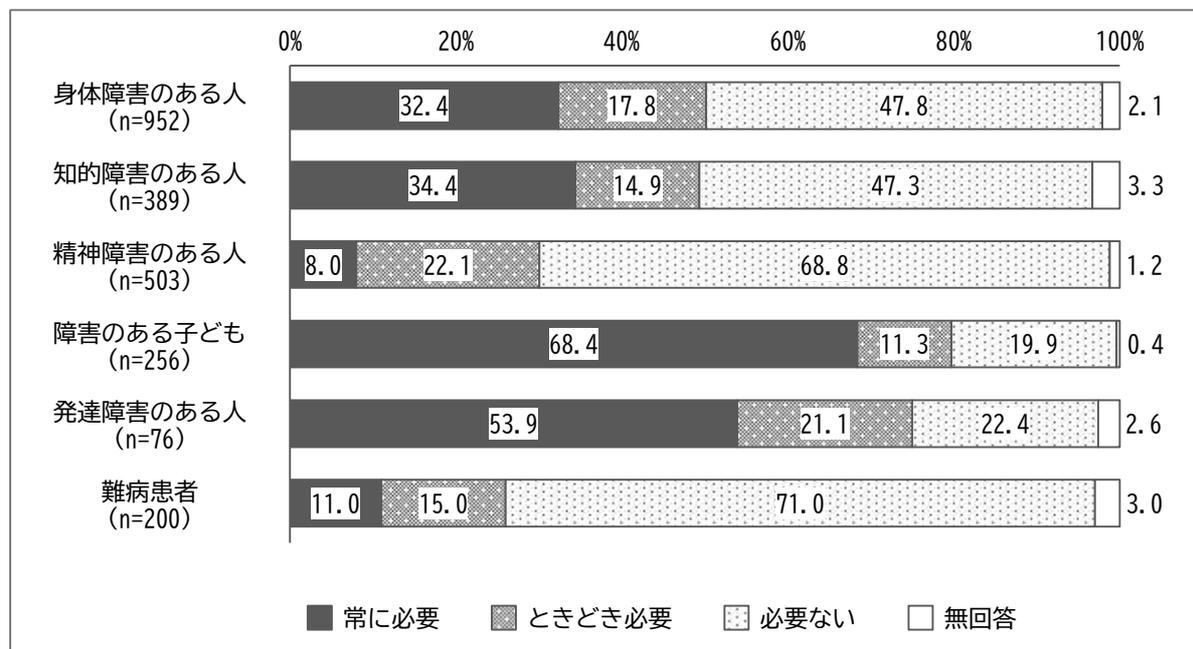
〈複数回答〉

	身体障害のある人 (n=952)	知的障害のある人 (n=389)	精神障害のある人 (n=503)	障害のある子ども (n=256)	発達障害のある人 (n=76)	難病患者 (n=200)
1位	自家用車（自分や 家族が運転） (64.0%)	電車・バス・ モノレール (47.3%)	自家用車（自分や 家族が運転） (50.7%) 電車・バス・ モノレール (50.7%) 徒歩・自転車 (50.7%)	自家用車（自分や 家族が運転） (86.7%)	自家用車（自分や 家族が運転） (84.2%)	自家用車（自分や 家族が運転） (74.0%)
2位	電車・バス・ モノレール (26.9%)	自家用車（自分や 家族が運転） (46.8%)	/	徒歩・自転車 (26.6%)	徒歩・自転車 (43.4%)	電車・バス・ モノレール (35.5%)
3位	送迎バス・ タクシー (23.0%)	徒歩・自転車 (41.9%)		電車・バス・ モノレール (22.7%)	電車・バス・ モノレール (36.8%)	徒歩・自転車 (35.0%)
4位	徒歩・自転車 (22.7%)	送迎バス・ タクシー (14.7%)	送迎バス・ タクシー (11.5%)	送迎バス・ タクシー (14.5%)	送迎バス・ タクシー (15.8%)	送迎バス・ タクシー (10.0%)
5位	車いす・ 電動車いす (14.5%)	その他 (4.6%)	その他 (2.4%)	車いす・ 電動車いす (12.5%)	その他 (1.3%)	車いす・ 電動車いす (3.0%)

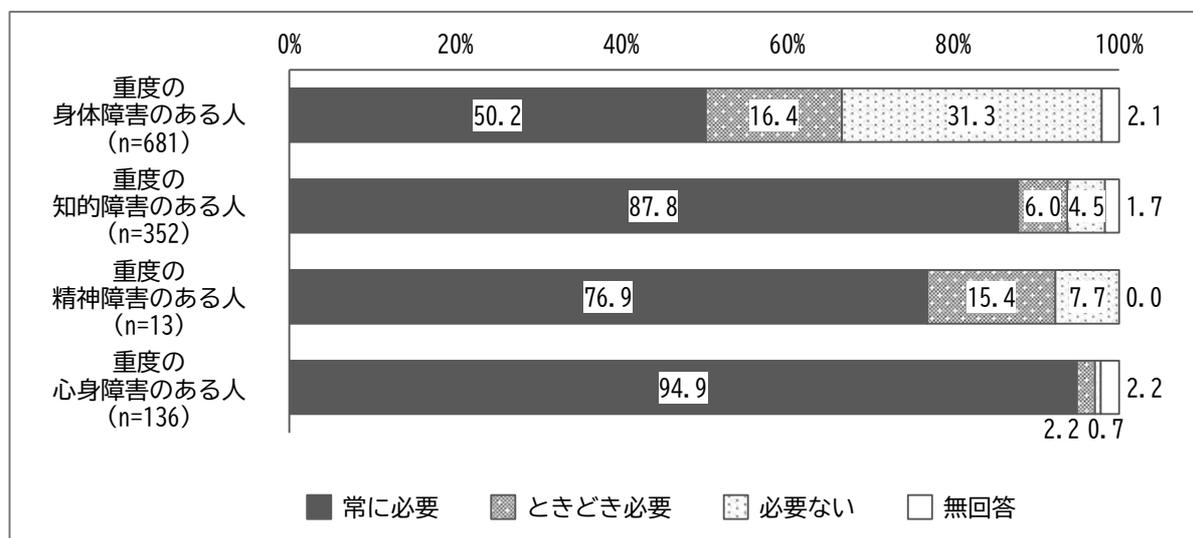
4) 外出時の介助者の必要性

外出時の介助者の必要性についてみると、「常に必要」と「ときどき必要」を合わせた割合は、障害のある子どもと発達障害のある人で高く、7割半ば～約8割となっています。

【外出時の介助者の必要性】



【外出時の介助者の必要性（重度の障害のある人のみ）】



備考) すべての障害種別の全回答者のうち、それぞれ身体障害者手帳1級～2級保持者、療育手帳A1～A2保持者、精神障害者保健福祉手帳1級保持者、身体障害者手帳1級～2級かつ療育手帳A1～A2保持者を重度としています。

5) 外出時の介助者

外出時の介助者は、多くの障害種別で「親」や「障害・介護サービス事業所の職員」の割合が高くなっています。また、身体障害のある人、精神障害のある人、難病患者では「配偶者（夫または妻）」の割合も高く、約3割～4割強となっています。

【外出時の介助者】

〈複数回答〉

	身体障害のある人 (n=477)	知的障害のある人 (n=192)	精神障害のある人 (n=151)	障害のある子ども (n=204)	発達障害のある人 (n=57)	難病患者 (n=52)
1位	障害・介護サービス事業所の職員 (39.2%)	親 (77.1%)	親 (41.7%)	親 (96.1%)	親 (96.5%)	配偶者 (夫または妻) (42.3%)
2位	親 (32.3%)	障害・介護サービス事業所の職員 (35.9%)	配偶者 (夫または妻) (30.5%)	障害・介護サービス事業所の職員 (30.9%)	障害・介護サービス事業所の職員 (43.9%)	子ども (28.8%)
3位	配偶者 (夫または妻) (29.1%)	兄弟姉妹 (17.7%)	兄弟姉妹 (15.9%)	祖父母 (10.3%)	ホームヘルパー (12.3%)	親 (19.2%)
4位	ホームヘルパー (16.4%)	ホームヘルパー (10.4%)	障害・介護サービス事業所の職員 (9.9%)	兄弟姉妹 (9.3%)	祖父母 (7.0%)	ホームヘルパー (13.5%)
					兄弟姉妹 (7.0%)	
					その他親族や友人 (7.0%)	
5位	兄弟姉妹 (14.0%)	その他親族や友人 (4.7%)	子ども (9.3%)	その他親族や友人 (2.5%)	兄弟姉妹 (11.5%)	障害・介護サービス事業所の職員 (11.5%)

6) 外出時に困ったこと

外出時に困ったことは、身体障害のある人を除く障害種別において「特にない」の割合が最も高く、3割弱～4割となっています。また、身体障害のある人では「歩道や建物に階段や段差が多いなど配慮が進んでいない」(37.6%)の割合が最も高くなっています。さらに、発達障害のある人を除くすべての障害種別において「発作など突然の身体の変化が心配」の割合も高く、精神障害のある人では3割となっています。

【外出時に困ったこと】

(複数回答)

	身体障害のある人 (n=952)	知的障害のある人 (n=389)	精神障害のある人 (n=503)	障害のある子ども (n=256)	発達障害のある人 (n=76)	難病患者 (n=200)
1位	歩道や建物に階段や段差が多いなど配慮が進んでいない (37.6%)	特にない (38.0%)	特にない (33.2%)	特にない (39.8%)	特にない (27.6%)	特にない (41.5%)
2位	特にない (29.2%)	公共交通機関の路線が少ない (16.5%)	発作など突然の身体の変化が心配 (30.6%)	歩道や建物に階段や段差が多いなど配慮が進んでいない (19.1%)	困ったときまわりの人が助けてくれない (19.7%) その他 (19.7%)	発作など突然の身体の変化が心配 (22.0%)
3位	公共交通機関の路線が少ない (16.8%)	発作など突然の身体の変化が心配 (15.2%)	公共交通機関の料金割引サービスがないものがあり経費がかかる (20.9%)	発作など突然の身体の変化が心配 (14.5%)	/	歩道や建物に階段や段差が多いなど配慮が進んでいない (19.5%)
4位	発作など突然の身体の変化が心配 (15.8%)	困ったときまわりの人が助けてくれない (13.6%)	公共交通機関の路線が少ない (19.1%)	困ったときまわりの人が助けてくれない (13.7%)	介助者がいない(確保できない) (14.5%)	公共交通機関の料金割引サービスがないものがあり経費がかかる (14.0%)
5位	公共交通機関の料金割引サービスがないものがあり経費がかかる (11.1%)	歩道や建物に階段や段差が多いなど配慮が進んでいない (11.1%)	困ったときまわりの人が助けてくれない (8.9%)	その他 (12.5%)	公共交通機関の料金割引サービスがないものがあり経費がかかる (11.8%)	公共交通機関の路線が少ない (12.5%)

「その他」の具体例

- 多目的トイレの数が少ない【身体障害のある人/障害のある子ども】
- 身障者用駐車場に健常者が停めるので、必要な時に停められない【身体障害のある人/障害のある子ども】
- 介護タクシーの料金が高額で利用しづらい【身体障害のある人】
- 一人で外出できず介助が必要【知的障害のある人】
- 人が多い場所に行けない【精神障害のある人】
- いつもと同じ状態でいつもと同じルートを通ってなど決まり事が多い【障害のある子ども】
- 障害への理解がない【発達障害のある人】
- 排便コントロールできないのでトイレが少ないと困る【難病患者】

3. 学校や教育について（障害のある子ども・発達障害のある人のみ）

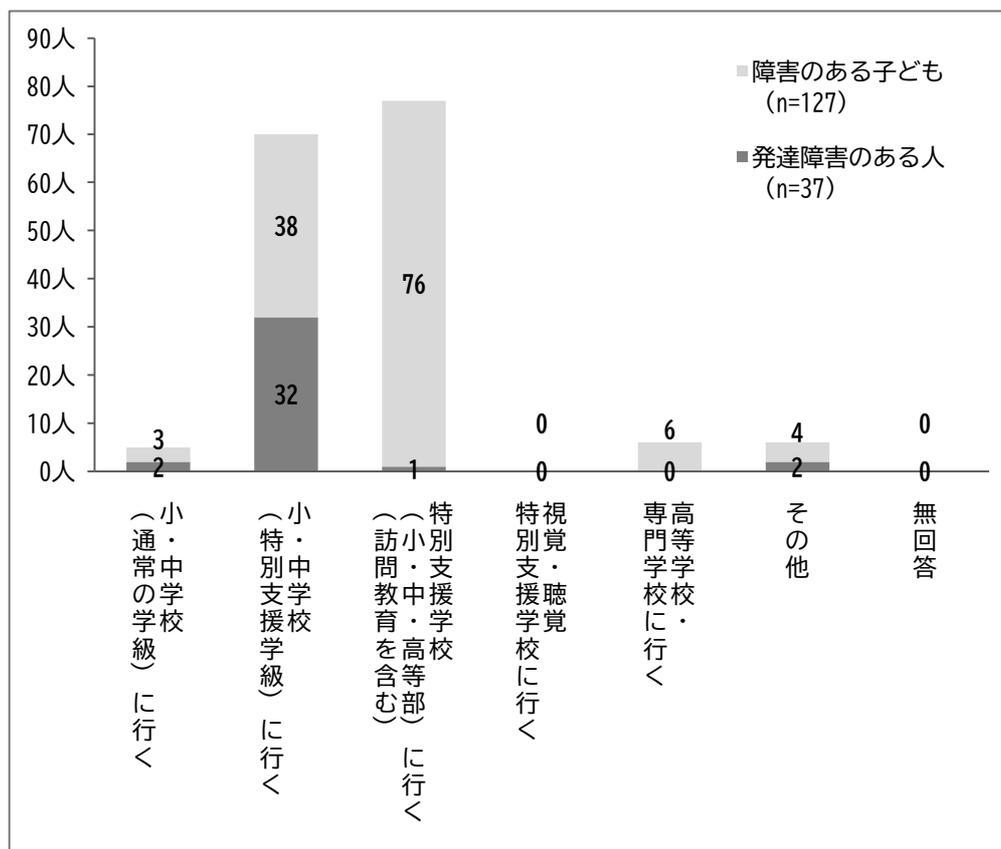
通っている学校は、発達障害の診断を受けている障害のある子どもでは特別支援学校が最も多く、在学中の発達障害のある人では小・中学校（特別支援学級）が多くなっています。

障害のある子どもと発達障害のある人の半数が学校や教育について困っていることがあると回答しており、困っていることとしては「学校卒業後の進路に不安がある」の割合が最も高くなっています。

1) 通っている学校（障害のある子ども（発達障害の診断あり）と発達障害のある人（在学中））

発達障害の診断を受けている障害のある子どもと在学中の発達障害のある人の通学状況をみると、障害のある子どもでは「特別支援学校（小・中・高等部）に行く（訪問教育を含む）」、発達障害のある人では「小・中学校（特別支援学級）に行く」が最も多くなっています。

【障害のある子ども（発達障害の診断あり）と発達障害のある人（在学中）の通学状況（実数）】



【障害の程度と通学先との関係（障害のある子ども（発達障害の診断あり）と

発達障害のある人（在学中）】

(%)

		小・中学校 (通常の学級)に 行く	小・中学校 (特別支援学級)に 行く	特別支援学校 (小・中・ 高等部)に 行く(訪問教育を 含む)	視覚・聴覚特別 支援学校に行く	高等学校・ 専門学校に行く	その他	無回答
身体障害者手帳	重 ↑	1級・2級 (n=62)	9.7	16.1	71.0	1.6	1.6	
		3級・4級 (n=15)	40.0	6.7	46.7	6.7		
	軽 ↓	5級・6級 (n=0)						
療育手帳	重 ↑	A1・A2 (n=74)	1.4	13.5	83.8		1.4	
		A3 (n=27)		7.4	88.9		3.7	
	軽 ↓	B1・B2 (n=72)	1.4	48.6	38.9	8.3	2.8	
精神保健福祉手帳	重 ↑	1級 (n=0)						
		2級 (n=5)	20.0	60.0	20.0			
	軽 ↓	3級 (n=4)		50.0	25.0	25.0		

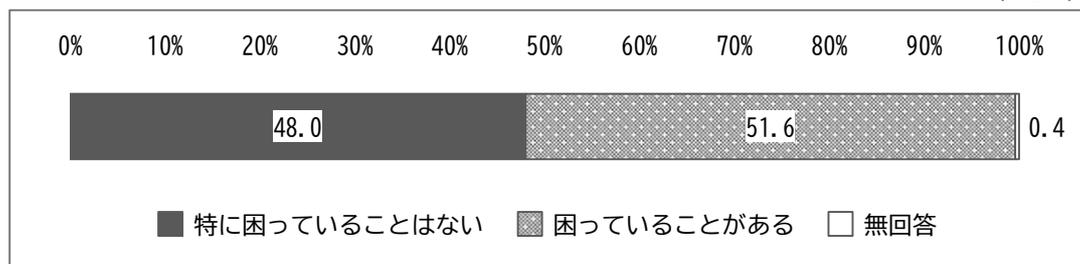
備考) 斜線部は0人

2) 学校や教育について困っていること（障害のある子ども・発達障害がある人のみ）

学校や教育について困っていることがあるか尋ねたところ、障害のある子どもと発達障害のある人の半数が「困っていることがある」と回答しています。

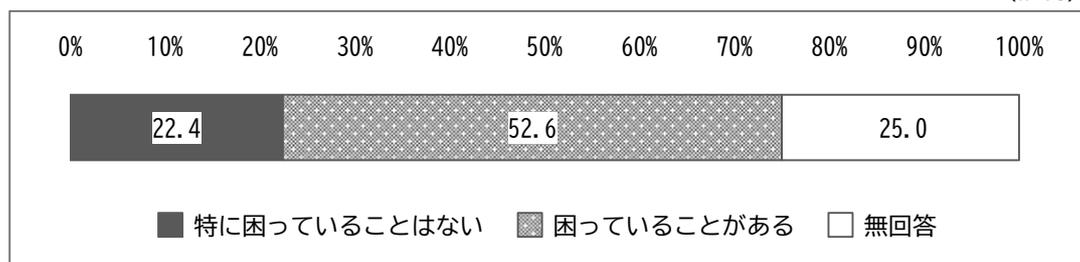
【学校や教育について困っていることがあるか（障害のある子ども）】

(n=256)



【学校や教育について困っていることがあるか（発達障害のある人）】

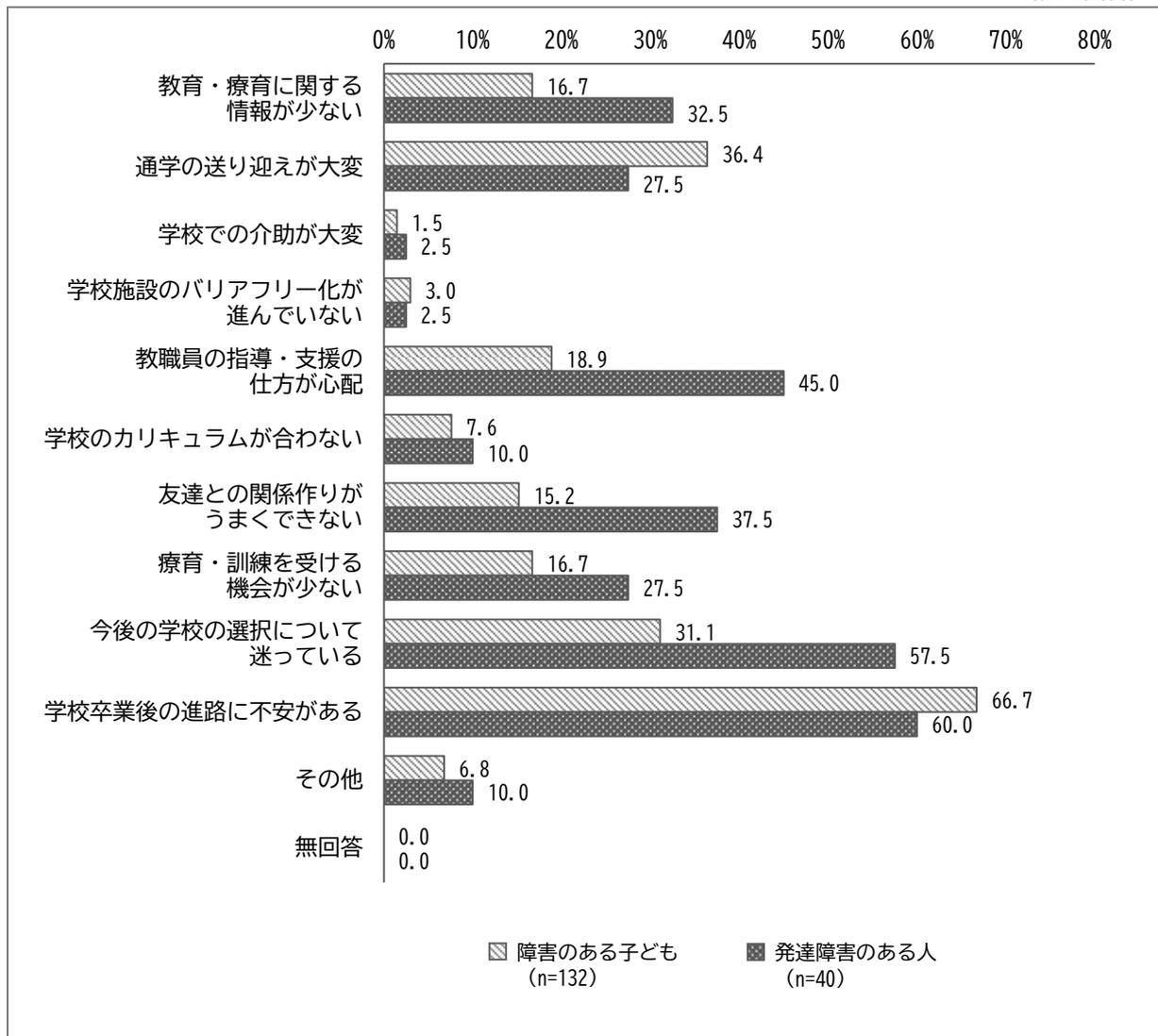
(n=76)



学校や教育について困っていることは、障害のある子どもと発達障害のある人ともに「学校卒業後の進路に不安がある」の割合が最も高く、障害のある子どもで6割半ば、発達障害のある人で6割となっています。

【学校や教育について困っていること】

〈複数回答〉



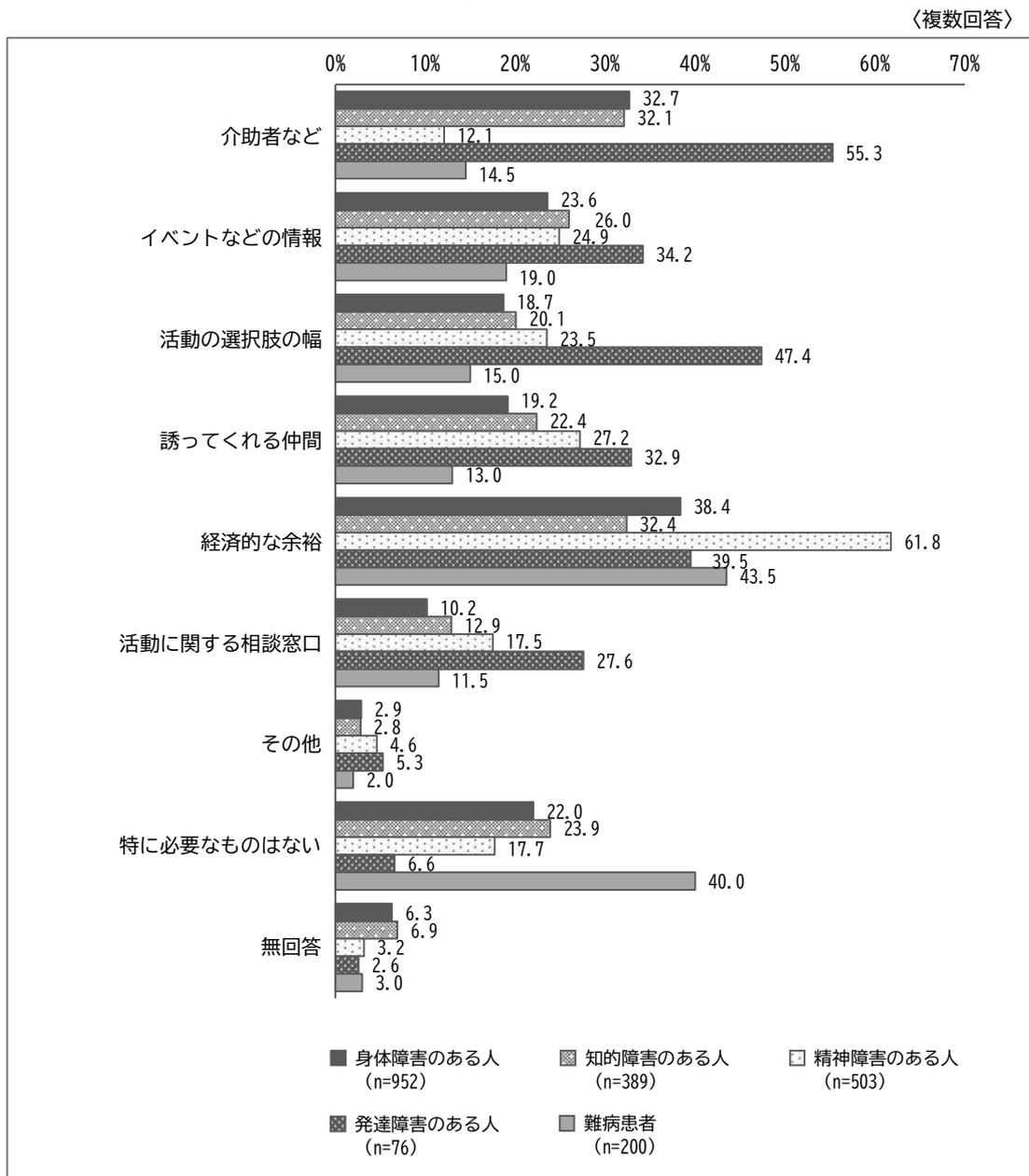
「その他」の具体例

- 毎年、担任が変わることで春～夏にかけて不安定になること。引きつぎがちゃんとされていない。
[障害のある子ども]
- 不登校であり、1人で留守番ができないため、親が仕事やその他の活動の時間を十分に確保できない。
[障害のある子ども]
- 勉強が難しい [障害のある子ども]
- 小中学校全てに支援級が設置されているわけではないので、障害があり、危険認識が普通の子より低くても、遠くの学校（支援級）に通わないといけな可能性もあり、進路に迷いが生じる。[発達障害のある人]

4. 余暇活動や社会的活動について

余暇活動や社会的活動の参加に必要なことは、発達障害のある人を除く障害種別において「経済的な余裕」の割合が最も高く、特に精神障害のある人では6割となっており、他の障害種別よりも高くなっています。また、難病患者の4割が「特に必要なものはない」と回答しています。

【余暇活動や社会的活動の参加に必要なこと】



備考) 障害のある子どもは該当する設問がないため省略しています。

「その他」の具体例

- 活動場所への移動手段 [身体障害のある人/発達障害のある人/難病患者]
- 国や自治体の関与、経済的援助 [身体障害のある人]
- 自分自身の精神状態が安定していること [精神障害のある人]
- 健常者からの理解 [発達障害のある人]

第3節 支援体制と障害福祉サービス

1. リハビリテーションについて

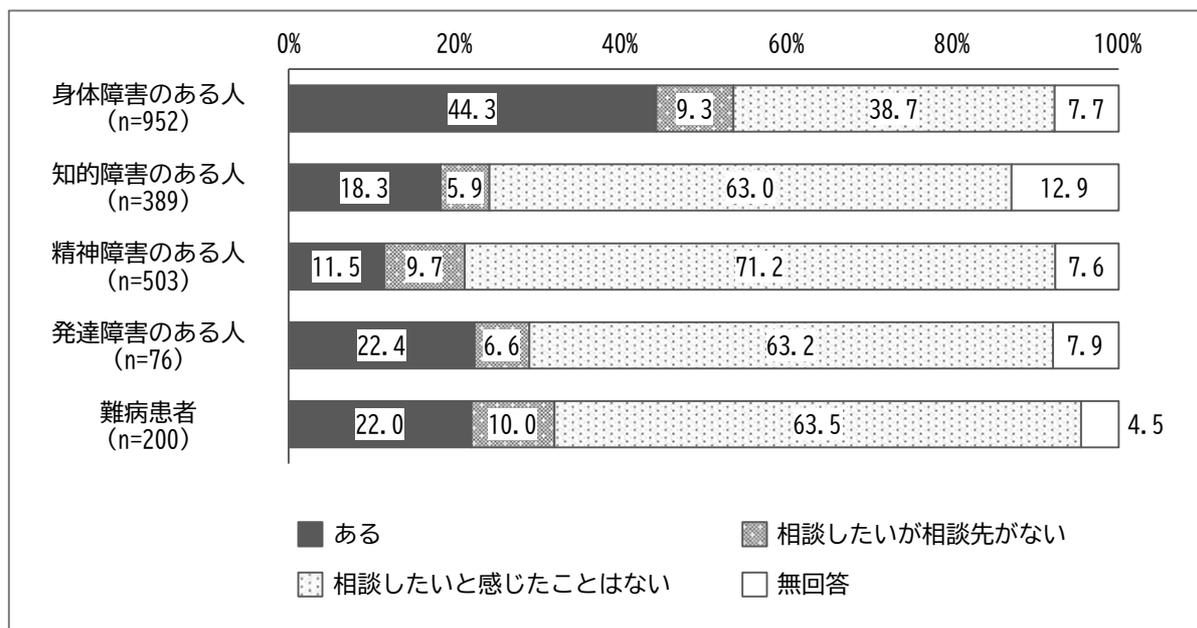
身体障害のある人ではリハビリテーションに関して相談できる機関があると回答した人の割合が4割半ばとなっています。一方、身体障害のある人を除く障害種別では6割強～7割の人が相談したいと感じたことはないと回答しています。

リハビリテーションに関する相談相手としては、身体障害のある人、精神障害のある人、難病患者では「医療機関のリハビリ専門職など」の割合が半数を超えています。

1) リハビリテーションに関して相談できる機関の有無

リハビリテーションに関して相談できる機関の有無について尋ねたところ、身体障害のある人を除く障害種別において「相談したいと感じたことはない」の割合が最も高く、6割強～7割となっています。また、身体障害のある人では「ある」の割合が4割半ばとなっており、他の障害種別よりも高くなっています。

【リハビリテーションに関して相談できる機関の有無】



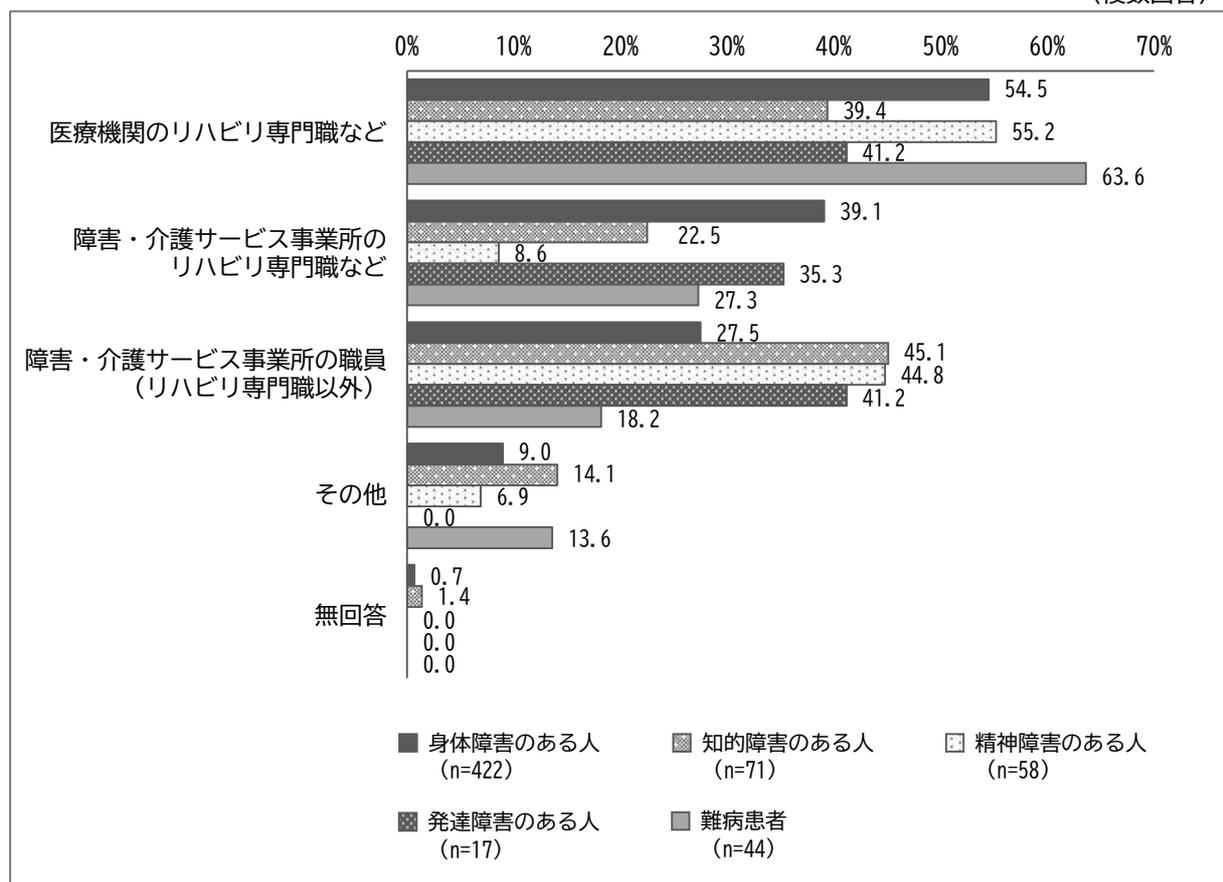
備考) 障害のある子どもは該当する設問がないため省略しています。

2) リハビリテーションに関する相談相手

リハビリテーションに関して相談できる機関があると答えた人にリハビリテーションに関する相談相手を尋ねたところ、身体障害のある人、精神障害のある人、難病患者では「医療機関のリハビリ専門職など」の割合が半数を超えています。

【リハビリテーションに関する相談相手】

〈複数回答〉



備考) 障害のある子どもは該当する設問がないため省略しています。

2. 生活に関する悩みなどの相談について

すべての障害種別において、生活に関する悩み・不安の相談相手としては「家族や親せき」の割合が最も高くなっており、身体障害のある人、知的障害のある人、精神障害のある人では「利用している障害・介護サービス事業所、医療機関の職員」、「友人・知人・地域の人」と続いています。障害のある子ども、発達障害のある人では「友人・知人・地域の人」よりも「通園施設や学校などの先生」の割合が高くなっています。

相談機関に必要なことは、すべての障害種別において半数以上が「気軽に相談できる窓口」を挙げています。また、発達障害のある人では「相談したい内容についての専門的な知識や技術」、「問題が解決するまで相談にのってくれる体制」の割合が他の障害種別よりも高くなっています。

1) 生活に関する悩み・不安の相談相手

生活に関する悩み・不安の相談相手は、「家族や親せき」、「利用している障害・介護サービス事業所、医療機関の職員」、「友人・知人・地域の人」の割合が高く、すべての障害種別において上位4項目に入っています。

【生活に関する悩み・不安の相談相手】

〈複数回答〉

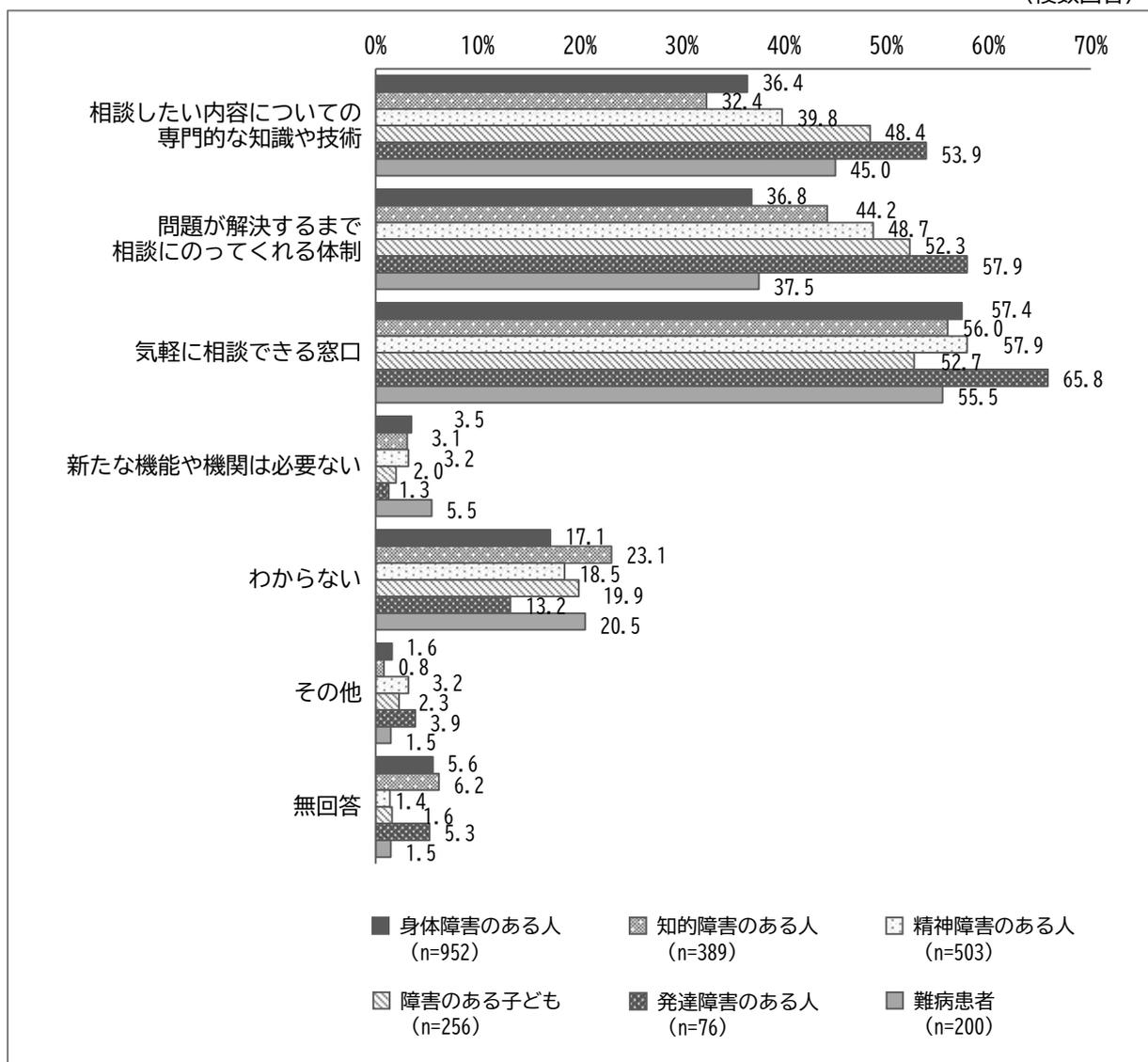
	身体障害のある人 (n=952)	知的障害のある人 (n=389)	精神障害のある人 (n=503)	障害のある子ども (n=256)	発達障害のある人 (n=76)	難病患者 (n=200)
1位	家族や親せき (61.4%)	家族や親せき (61.7%)	家族や親せき (58.8%)	家族や親せき (71.5%)	家族や親せき (77.6%)	家族や親せき (70.5%)
2位	利用している障害・ 介護サービス事業所、 医療機関の職員 (32.4%)	利用している障害・ 介護サービス事業所、 医療機関の職員 (42.4%)	利用している障害・ 介護サービス事業所、 医療機関の職員 (39.2%)	利用している障害・ 介護サービス事業所、 医療機関の職員 (37.1%)	利用している障害・ 介護サービス事業所、 医療機関の職員 (42.1%)	友人・知人・ 地域の人 (25.0%)
3位	友人・知人・ 地域の人 (17.9%)	友人・知人・ 地域の人 (16.2%)	友人・知人・ 地域の人 (25.6%)	通園施設や 学校などの先生 (34.0%)	通園施設や 学校などの先生 (22.4%)	利用している障害・ 介護サービス事業所、 医療機関の職員 (19.5%)
4位	相談しない (9.7%)	行政の相談窓口 (区役所、障害者基幹 相談支援センター、精神 保健福祉センターなど) (11.6%)	職場の上司や同僚 (10.5%)	友人・知人・ 地域の人 (12.9%)	友人・知人・ 地域の人 (14.5%)	職場の上司や同僚 (11.5%)
5位	行政の相談窓口 (区役所、障害者基幹 相談支援センター、精神 保健福祉センターなど) (6.6%)	職場の上司や同僚 (11.1%)	その他 (10.1%)	相談しない (10.5%)	障害者団体や 家族会 (11.8%)	相談しない (10.5%)

	身体障害のある人 (n=952)	知的障害のある人 (n=389)	精神障害のある人 (n=503)	障害のある子ども (n=256)	発達障害のある人 (n=76)	難病患者 (n=200)
〈参考〉	相談できる人が いない (4.7%)	相談できる人が いない (3.3%)	相談できる人が いない (7.8%)	相談できる人が いない (1.6%)	相談できる人が いない (1.3%)	相談できる人が いない (6.5%)
	相談しない (9.7%)	相談しない (3.3%)	相談しない (6.0%)	相談しない (10.5%)	相談しない (7.9%)	相談しない (10.5%)

2) 相談機関に必要なこと

相談機関に必要なことは、すべての障害種別において「気軽に相談できる窓口」の割合が最も高く、5割強～6割半ばとなっています。

【相談機関に必要なこと】



3. 障害福祉サービス等の利用について

障害福祉サービス等の利用について、身体障害のある人では「居宅介護（ホームヘルプ）」、「生活介護」、「計画相談支援」、「日常生活用具の給付」の利用が比較的多く、今後は「居宅介護（ホームヘルプ）」、「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」、「計画相談支援」、「日常生活用具の給付」を利用したいと回答した人が多くなっています。

知的障害のある人では「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」、「共同生活援助（グループホーム）」、「就労継続支援」、「計画相談支援」の利用が比較的多く、今後は「行動援護」、「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」、「共同生活援助（グループホーム）」、「自立訓練」、「就労継続支援」、「計画相談支援」、「移動支援事業」、「障害者スポーツ教室」を利用したいと回答した人が多くなっています。

精神障害のある人では「就労継続支援」、「計画相談支援」の利用が比較的多く、今後は「自立生活援助」、「自立訓練」、「就労移行支援」、「就労継続支援」、「就労定着支援」、「計画相談支援」を利用したいと回答した人が多くなっています。

障害のある子どもでは「短期入所（ショートステイ）」、「児童発達支援」、「放課後等デイサービス」、「障害児相談支援」、「計画相談支援」、「日常生活用具の給付」、「日中一時支援事業（日帰りショート）」の利用が比較的多く、今後は「行動援護」、「短期入所（ショートステイ）」、「自立訓練」、「放課後等デイサービス」、「障害児相談支援」、「計画相談支援」、「日常生活用具の給付」、「日中一時支援事業（日帰りショート）」、「障害者スポーツ教室」を利用したいと回答した人が多くなっています。

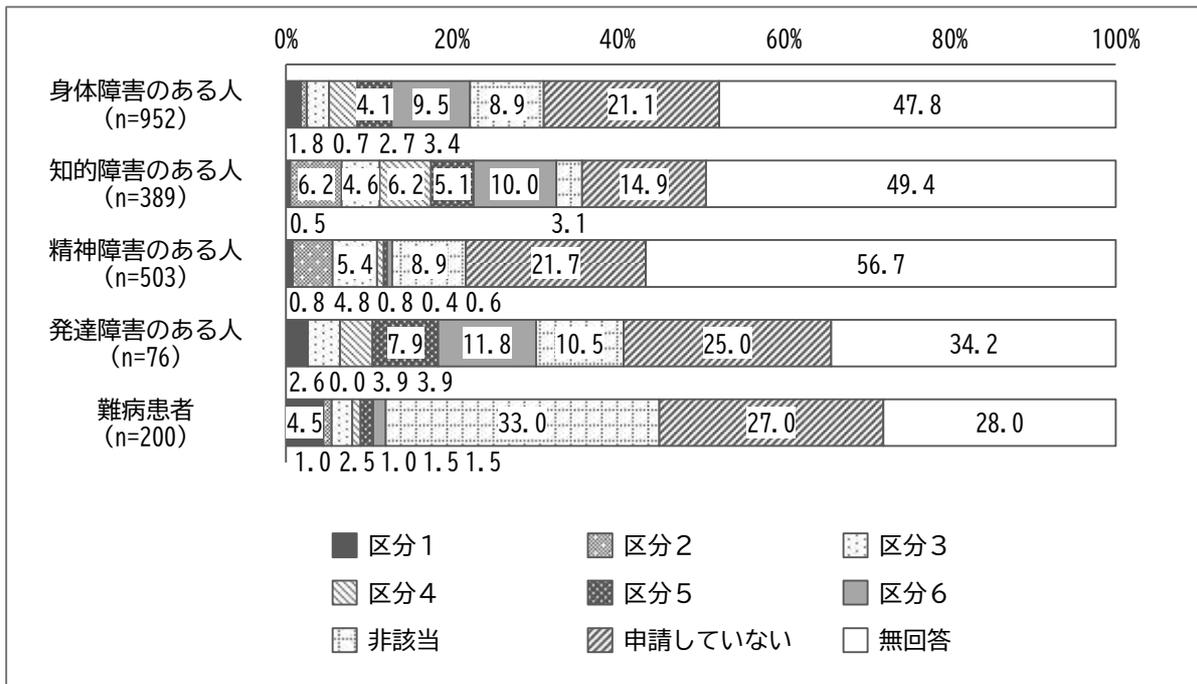
発達障害のある人では「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」、「放課後等デイサービス」、「障害児相談支援」、「計画相談支援」、「移動支援事業」の利用が比較的多く、今後は「行動援護」、「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」、「共同生活援助（グループホーム）」、「自立訓練」、「就労継続支援」、「放課後等デイサービス」、「障害児相談支援」、「計画相談支援」、「地域定着支援」、「移動支援事業」、「日中一時支援事業（日帰りショート）」、「障害者スポーツ教室」を利用したいと回答した人が多くなっています。

難病患者では「就労継続支援」、「計画相談支援」の利用が比較的多く、今後は「就労継続支援」を利用したいと回答した人が多くなっています。

1) 障害支援区分の認定状況

障害支援区分について、知的障害のある人の3割強、発達障害のある人の3割が認定を受けていますが、身体障害のある人では回答者の2割強、精神障害のある人と難病患者では回答者の1割強しか認定を受けていません。

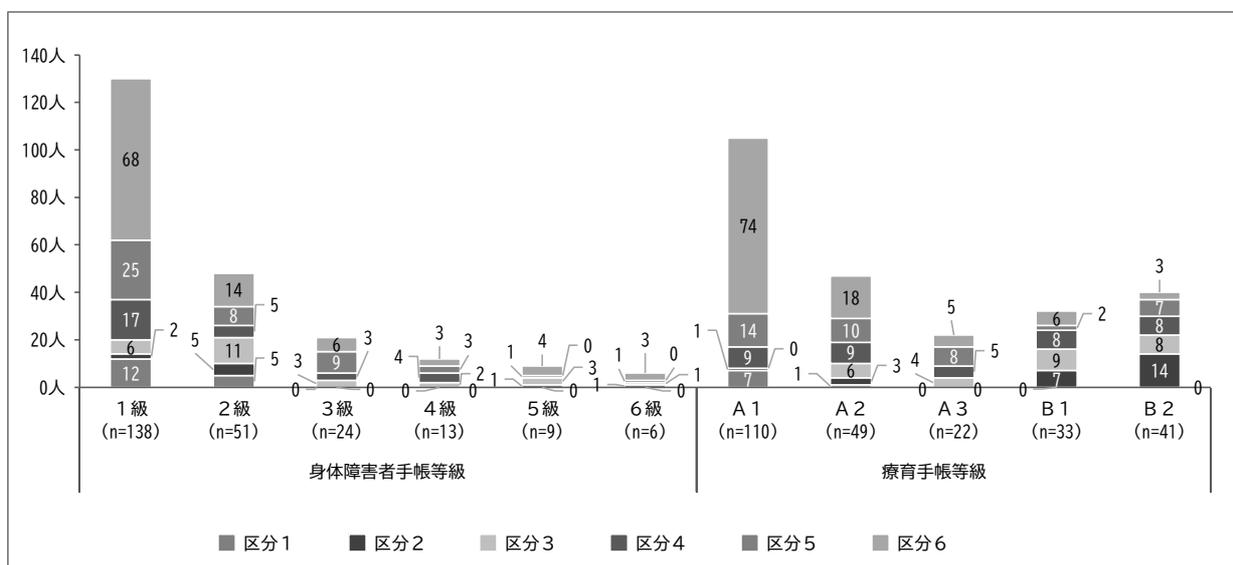
【障害支援区分の認定状況】



備考) 障害のある子どもは該当する設問がないため省略しています。

身体障害のある人と知的障害のある人について、手帳等級と障害支援区分の関係をみると、障害の程度がより重い人が、障害支援区分の認定を受けている傾向がみられます。

【手帳等級と障害支援区分の関係 (身体障害のある人・知的障害のある人のみ)】



【要介護度と障害支援区分との関係】

(人)

		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	非該当	申請 してい ない	無回答	合計	
要 介 護 度	身 体 障 害 の あ る 人	要支援1	3	0	0	1	0	0	0	6	1	11
		要支援2	1	1	2	0	0	0	2	7	11	24
		要介護1	1	0	1	1	0	0	0	4	6	13
		要介護2	0	2	0	0	0	0	2	7	13	24
		要介護3	1	1	1	0	3	2	2	13	15	38
		要介護4	1	0	0	0	0	0	1	2	10	14
		要介護5	1	0	0	0	0	6	0	4	11	22
		無回答	0	0	0	0	0	1	0	1	4	6
		合計	8	4	4	2	3	9	7	44	71	152
	知 的 障 害 の あ る 人	要支援1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
		要支援2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		要介護3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	1	1	0	0	0	1	1	0	1	5
	精 神 障 害 の あ る 人	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		要支援2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
		要介護1	0	1	0	0	0	0	2	1	1	5
		要介護2	0	1	0	0	0	0	0	1	2	4
		要介護3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
		要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	0	3	1	0	0	0	2	3	7	16
	難 病 患 者	要支援1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
要支援2		0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	
要介護1		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
要介護2		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
要介護3		0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	
要介護4		0	0	1	0	0	0	0	4	1	6	
要介護5		0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	
無回答		0	0	0	0	0	0	2	1	2	5	
合計		0	0	1	1	0	0	3	7	12	24	

備考) 障害のある子どもは要介護度の設問がなく、発達障害のある人は要介護の認定を受けている人がいないため省略しています。

65歳以上の要介護度については、身体障害のある人で「要介護3」の割合が最も高く、2割半ばとなっています。

【要介護度（65歳以上）】

(%)

	身体障害のある人 (n=97)	知的障害のある人 (n=1)	精神障害のある人 (n=9)	難病患者 (n=9)
要支援1	9.3	0.0	11.1	11.1
要支援2	15.5	100.0	0.0	0.0
要介護1	8.2	0.0	55.6	11.1
要介護2	18.6	0.0	22.2	0.0
要介護3	25.8	0.0	11.1	22.2
要介護4	10.3	0.0	0.0	22.2
要介護5	9.3	0.0	0.0	11.1
無回答	3.1	0.0	0.0	22.2

備考1) 障害のある子どもは要介護度の設問がなく、発達障害のある人は要介護の認定を受けていない人がいないため省略しています。

備考2) サンプル数(n)が少ない障害種別については、分析コメントを省略しています。

40～64歳の要介護度については、身体障害のある人では「要介護3」「要介護5」の割合が最も高く、2割強となっています。

【要介護度（40～64歳）】

(%)

	身体障害のある人 (n=55)	知的障害のある人 (n=4)	精神障害のある人 (n=7)	難病患者 (n=15)
要支援1	3.6	50.0	0.0	6.7
要支援2	16.4	0.0	28.6	13.3
要介護1	9.1	0.0	0.0	0.0
要介護2	10.9	0.0	28.6	6.7
要介護3	23.6	25.0	14.3	13.3
要介護4	7.3	0.0	14.3	26.7
要介護5	23.6	25.0	14.3	13.3
無回答	5.5	0.0	0.0	20.0

備考1) 障害のある子どもは要介護度の設問がなく、発達障害のある人は要介護の認定を受けていない人がいないため省略しています。

備考2) サンプル数(n)が少ない障害種別については、分析コメントを省略しています。

2) 障害福祉サービス等の利用状況

①介護給付サービス（障害支援区分の認定を受けている人のみ）

【身体障害のある人】

	R7 (n=226)		【参考値】 R4(n=248)	
	利用状況	利用予定	利用状況	利用予定
	利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)
①居宅介護（ホームヘルプ）	25.2	24.8	42.3	39.5
②重度訪問介護	6.2	9.3	11.7	15.7
③同行援護	10.2	11.9	25.0	22.2
④行動援護	9.7	12.8	6.0	10.1
⑤重度障害者等包括支援	6.6	8.4	7.7	8.9
⑥施設入所支援	12.4	15.0	9.3	12.5
⑦短期入所（ショートステイ）	23.0	31.9	16.1	21.8
⑧療養介護	8.0	10.6	6.5	8.9
⑨生活介護	41.6	34.5	30.6	28.2

【知的障害のある人】

	R7 (n=134)		【参考値】 R4(n=149)	
	利用状況	利用予定	利用状況	利用予定
	利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)
①居宅介護（ホームヘルプ）	9.0	9.7	10.7	10.1
②重度訪問介護	0.7	5.2	1.3	4.0
③同行援護	1.5	3.0	1.3	2.0
④行動援護	9.0	24.6	13.4	20.8
⑤重度障害者等包括支援	0.7	4.5	0.7	2.7
⑥施設入所支援	8.2	17.9	10.7	13.4
⑦短期入所（ショートステイ）	18.7	29.9	26.8	40.3
⑧療養介護	2.2	5.2	3.4	4.0
⑨生活介護	31.3	23.1	36.2	29.5

【精神障害のある人】

	R7 (n=68)		【参考値】 R4(n=154)	
	利用状況	利用予定	利用状況	利用予定
	利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)
①居宅介護（ホームヘルプ）	19.1	20.6	38.3	29.9
②重度訪問介護	0.0	1.5	3.9	5.8
③同行援護	0.0	0.0	2.6	7.1
④行動援護	5.9	16.2	9.1	13.0
⑤重度障害者等包括支援	0.0	0.0	1.9	3.9
⑥施設入所支援	0.0	2.9	0.6	3.2
⑦短期入所（ショートステイ）	4.4	10.3	9.1	9.1
⑧療養介護	1.5	5.9	3.2	7.1
⑨生活介護	8.8	10.3	7.1	5.8

【発達障害のある人】

	R7 (n=25)		【参考値】 R4(n=26)	
	利用状況	利用予定	利用状況	利用予定
	利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)
①居宅介護（ホームヘルプ）	4.0	12.0	11.5	11.5
②重度訪問介護	0.0	0.0	0.0	3.8
③同行援護	0.0	0.0	0.0	3.8
④行動援護	12.0	24.0	11.5	30.8
⑤重度障害者等包括支援	0.0	0.0	0.0	7.7
⑥施設入所支援	12.0	8.0	7.7	15.4
⑦短期入所（ショートステイ）	48.0	56.0	19.2	53.8
⑧療養介護	0.0	0.0	0.0	3.8
⑨生活介護	56.0	40.0	50.0	42.3

【難病患者】

	R7 (n=24)		【参考値】 R4(n=46)	
	利用状況	利用予定	利用状況	利用予定
	利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)
①居宅介護 (ホームヘルプ)	16.7	16.7	43.5	37.0
②重度訪問介護	8.3	4.2	10.9	10.9
③同行援護	0.0	0.0	2.2	4.3
④行動援護	0.0	0.0	6.5	6.5
⑤重度障害者等包括支援	0.0	0.0	6.5	6.5
⑥施設入所支援	0.0	0.0	10.9	6.5
⑦短期入所 (ショートステイ)	0.0	0.0	13.0	28.3
⑧療養介護	0.0	4.2	4.3	6.5
⑨生活介護	8.3	0.0	26.1	10.9

②地域相談支援サービス

R7

	利用状況	利用予定
	利用している (%)	利用したい (%)
地域移行支援 (n=464)	0.4	6.9
地域定着支援 (n=162)	4.3	12.3

【参考値】 R4

	利用状況	利用予定
	利用している (%)	利用したい (%)
地域移行支援 (n=502)	5.4	12.4
地域定着支援 (n=181)	8.8	17.7

備考1) 地域移行支援については、精神障害のある人のうち、通院している人を母数としています。

備考2) 地域定着支援については、すべての障害種別の全回答者のうち、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳を持っている人かつ単身者を母数としています。

3) 障害福祉サービス等の利用状況と利用予定

【身体障害のある人】

		R7 (n=952)		【参考値】R4 (n=941)		
		利用状況	利用予定	利用状況	利用予定	
		利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)	
障害福祉サービス等	介護給付	居宅介護（ホームヘルプ）	10.0	10.5	18.6	15.0
		重度訪問介護	2.5	4.4	4.8	5.8
		同行援護	4.2	4.9	10.4	8.3
		行動援護	3.3	4.1	2.4	3.4
		重度障害者等包括支援	2.6	3.4	3.2	3.6
		施設入所支援	6.1	6.8	3.8	4.6
		短期入所（ショートステイ）	8.0	10.6	5.7	8.3
		療養介護	3.6	4.7	4.1	4.4
		生活介護	13.6	11.7	11.6	10.3
	訓練等給付	自立生活援助	3.5	5.5	6.6	6.0
		共同生活援助（グループホーム）	3.0	5.1	2.1	3.3
		自立訓練	6.9	8.4	6.6	7.9
		就労移行支援	2.6	4.0	2.2	3.6
		就労継続支援	9.0	8.3	5.8	7.4
		就労定着支援	1.2	2.6	1.4	2.7
	通所障害児支援	児童発達支援				
		放課後等デイサービス				
		居宅訪問型児童発達支援				
		保育所等訪問支援				
	支入所障害児支援	福祉型 障害児入所施設				
		医療型 障害児入所施設				
	支相計 援助談画	障害児相談支援	0.1	0.1		
		計画相談支援	19.2	14.9	16.5	15.0
	支相地 援助談域	地域移行支援	0.3	3.7	2.1	4.4
		地域定着支援	1.9	5.7	3.8	7.7
	地域生活支援等	成年後見制度利用支援事業	2.2	3.7	1.7	2.4
		手話通訳派遣事業	0.0	0.4	1.3	1.1
要約筆記派遣事業		0.1	0.5	0.9	1.1	
日常生活用具の給付		13.0	19.5	23.3	25.8	
移動支援事業		4.3	7.2	9.1	12.4	
地域活動支援センター		1.8	4.2	2.3	5.8	
訪問入浴サービス事業		1.4	2.2	2.2	3.4	
福祉ホーム		1.2	3.3	0.5	4.3	
日中一時支援事業（日帰りショート）		4.0	5.8	2.8	5.4	
パソコンサポーター		0.8	6.0	1.0	8.7	
障害者スポーツ教室		2.9	8.3	1.6	10.8	
中途視覚障害者緊急生活訓練事業		0.9	2.7	1.8	5.1	
重度障害者大学等進学支援事業		0.1	0.1	0.2	0.9	
重度障害者等就労支援特別事業		0.1	1.1	0.1	1.8	

【知的障害のある人】

		R7 (n=389)		【参考値】 R4 (n=342)		
		利用状況	利用予定	利用状況	利用予定	
		利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)	
障害福祉サービス等	介護給付	居宅介護（ホームヘルプ）	4.9	5.9	6.7	7.3
		重度訪問介護	0.5	2.3	0.6	2.3
		同行援護	1.5	1.8	0.6	2.3
		行動援護	6.9	12.6	7.6	13.2
		重度障害者等包括支援	0.5	1.8	0.6	2.0
		施設入所支援	6.7	9.5	8.5	9.9
		短期入所（ショートステイ）	10.3	14.9	16.1	23.4
		療養介護	1.8	3.1	2.9	4.7
		生活介護	16.7	11.6	22.2	19.0
	訓練等給付	自立生活援助	3.9	8.0	3.5	8.8
		共同生活援助（グループホーム）	12.3	18.8	13.7	16.4
		自立訓練	7.5	11.6	5.8	10.2
		就労移行支援	4.9	6.2	4.4	7.6
		就労継続支援	28.0	21.1	25.1	23.4
		就労定着支援	4.6	6.7	4.4	5.8
	通所支援 障害児	児童発達支援				
		放課後等デイサービス				
		居宅訪問型児童発達支援				
		保育所等訪問支援				
	支入所 障害児	福祉型 障害児入所施設				
		医療型 障害児入所施設				
	支相計 援助談画	障害児相談支援				
		計画相談支援	37.5	28.3	34.2	26.9
	支相地 援助談域	地域移行支援	1.0	7.7	2.6	7.3
		地域定着支援	3.3	9.0	2.6	8.5
	地域生活支援等	成年後見制度利用支援事業	3.3	9.5	4.4	8.2
		手話通訳派遣事業	0.0	0.0	0.3	0.6
		要約筆記派遣事業	0.5	0.5	0.3	0.6
		日常生活用具の給付	1.5	4.6	4.4	5.0
		移動支援事業	5.9	12.3	5.8	12.9
地域活動支援センター		3.3	9.8	3.8	9.4	
訪問入浴サービス事業		0.3	1.5	0.6	1.8	
福祉ホーム		1.0	4.4	1.5	5.8	
日中一時支援事業（日帰りショート）		5.4	9.3	8.2	14.0	
パソコンサポーター		0.0	4.6	1.2	7.0	
障害者スポーツ教室		5.4	13.6	2.9	15.8	
中途視覚障害者緊急生活訓練事業		0.0	1.3	0.3	2.0	
重度障害者大学等進学支援事業		0.0	0.3	0.0	0.3	
重度障害者等就労支援特別事業		0.0	0.5	0.0	0.3	

【精神障害のある人】

		R7 (n=503)		【参考値】 R4 (n=533)		
		利用状況	利用予定	利用状況	利用予定	
		利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)	
障害福祉サービス等	介護給付	居宅介護（ホームヘルプ）	4.2	5.4	16.3	13.3
		重度訪問介護	0.0	0.4	1.9	2.6
		同行援護	0.0	0.2	1.3	2.8
		行動援護	2.0	5.0	4.1	8.3
		重度障害者等包括支援	0.0	0.2	0.8	1.9
		施設入所支援	0.6	1.0	0.6	2.1
		短期入所（ショートステイ）	1.0	1.8	3.9	5.6
		療養介護	0.4	1.6	1.5	3.8
		生活介護	2.0	2.6	3.9	4.3
	訓練等給付	自立生活援助	8.0	11.3	16.5	21.0
		共同生活援助（グループホーム）	2.4	5.8	7.7	10.3
		自立訓練	5.8	10.5	8.1	13.7
		就労移行支援	8.5	14.3	12.4	17.8
		就労継続支援	21.1	24.5	20.8	25.9
		就労定着支援	5.2	12.9	6.0	15.4
	通所障害児支援	児童発達支援				
		放課後等デイサービス				
		居宅訪問型児童発達支援				
		保育所等訪問支援				
	支入所障害児支援	福祉型 障害児入所施設				
		医療型 障害児入所施設				
	支相計援助談画	障害児相談支援				
		計画相談支援	21.3	17.9	37.3	32.8
	支相地域援助談	地域移行支援	0.6	6.4	5.1	12.0
		地域定着支援	2.4	8.9	7.3	16.3
	地域生活支援等	成年後見制度利用支援事業	0.0	4.0	2.8	5.8
		手話通訳派遣事業	0.0	0.2	0.0	0.6
要約筆記派遣事業		0.0	0.0	0.0	0.6	
日常生活用具の給付		0.4	4.2	2.6	7.3	
移動支援事業		0.0	1.0	1.7	6.4	
地域活動支援センター		2.0	7.6	3.4	10.7	
訪問入浴サービス事業		0.0	0.4	0.6	2.4	
福祉ホーム		0.6	4.4	2.1	8.1	
日中一時支援事業（日帰りショート）		0.8	2.0	3.2	7.5	
パソコンサポーター		0.4	9.1	0.2	13.7	
障害者スポーツ教室		1.0	9.3	0.9	12.6	
中途視覚障害者緊急生活訓練事業		0.2	1.4	0.6	3.6	
重度障害者大学等進学支援事業		0.0	0.2	0.0	1.1	
重度障害者等就労支援特別事業		0.0	1.0	0.4	1.9	

【障害のある子ども】

		R7 (n=256)		【参考値】 R4 (n=167)		
		利用状況	利用予定	利用状況	利用予定	
		利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)	
障害福祉サービス等	介護給付	居宅介護（ホームヘルプ）	2.0	3.9	3.0	6.6
		重度訪問介護		3.5		4.2
		同行援護	0.0	0.4	0.0	1.2
		行動援護	1.2	10.5	2.4	12.6
		重度障害者等包括支援	0.4	2.7	0.6	3.0
		施設入所支援		5.1		4.2
		短期入所（ショートステイ）	12.9	27.7	6.6	21.0
		療養介護		2.7		2.4
		生活介護		6.3		8.4
	訓練等給付	自立生活援助		4.3		9.6
		共同生活援助（グループホーム）		5.9		3.0
		自立訓練		11.7		18.6
		就労移行支援		4.3		9.0
		就労継続支援		5.9		9.6
		就労定着支援		2.7		6.6
	通所障害児支援	児童発達支援	15.6	9.0	40.7	41.9
		放課後等デイサービス	62.9	60.9	61.7	69.5
		居宅訪問型児童発達支援	1.2	3.1	0.0	4.8
		保育所等訪問支援	5.1	5.5	11.4	11.4
	支入所障害児支援	福祉型 障害児入所施設	0.4	3.5	1.8	5.4
		医療型 障害児入所施設	0.4	2.3	1.8	2.4
	支相計援談画	障害児相談支援	35.2	32.8	48.5	49.1
		計画相談支援	45.7	38.7	59.3	59.9
	支相地援談域	地域移行支援	0.4	6.3	4.8	11.4
		地域定着支援	1.2	8.6	4.2	18.0
	地域生活支援等	成年後見制度利用支援事業		4.7		6.0
		手話通訳派遣事業	0.0	0.4	0.6	1.8
		要約筆記派遣事業	0.0	0.4	0.0	1.8
日常生活用具の給付		16.4	18.0	15.6	19.2	
移動支援事業		2.3	3.9	1.8	10.8	
地域活動支援センター		0.4	8.2	1.8	13.2	
訪問入浴サービス事業		0.4	4.3	0.0	3.6	
福祉ホーム			3.1		3.0	
日中一時支援事業（日帰りショート）		14.8	28.5	13.8	26.9	
パソコンサポーター		0.8	6.3	0.0	6.6	
障害者スポーツ教室		1.2	18.8	3.6	28.1	
中途視覚障害者緊急生活訓練事業		0.0	1.2	0.0	3.6	
重度障害者大学等進学支援事業			0.0		1.2	
重度障害者等就労支援特別事業		0.0	0.0	0.0	1.8	

【発達障害のある人】

		R7 (n=76)		【参考値】 R4 (n=104)		
		利用状況	利用予定	利用状況	利用予定	
		利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)	
障害福祉サービス等	介護給付	居宅介護（ホームヘルプ）	1.3	7.9	2.9	2.9
		重度訪問介護	0.0	2.6	0.0	1.0
		同行援護	0.0	0.0	0.0	1.0
		行動援護	6.6	13.2	2.9	10.6
		重度障害者等包括支援	0.0	0.0	0.0	1.9
		施設入所支援	5.3	3.9	1.9	4.8
		短期入所（ショートステイ）	18.4	26.3	4.8	18.3
		療養介護	0.0	0.0	0.0	1.0
		生活介護	21.1	14.5	12.5	11.5
	訓練等給付	自立生活援助	0.0	9.2	1.0	6.7
		共同生活援助（グループホーム）	5.3	22.4	5.8	17.3
		自立訓練	2.6	14.5	0.0	12.5
		就労移行支援	0.0	3.9	0.0	9.6
		就労継続支援	7.9	10.5	6.7	11.5
		就労定着支援	0.0	2.6	0.0	5.8
	通所障害児支援	児童発達支援 *	0.0	0.0	17.4	27.5
		放課後等デイサービス *	78.9	68.4	69.6	62.3
		居宅訪問型児童発達支援 *	0.0	5.3	0.0	0.0
		保育所等訪問支援 *	5.3	13.2	1.4	2.9
	支入所障害児支援	福祉型 障害児入所施設 *	0.0	2.6	0.0	1.4
		医療型 障害児入所施設 *	0.0	0.0	0.0	1.4
	支相計援助談画	障害児相談支援 *	36.8	42.1	31.9	30.4
		計画相談支援	59.2	52.6	45.2	45.2
	支相地域援助談	地域移行支援	1.3	7.9	1.9	8.7
		地域定着支援	0.0	10.5	1.0	9.6
	地域生活支援等	成年後見制度利用支援事業	1.3	7.9	1.9	9.6
		手話通訳派遣事業	0.0	0.0	0.0	0.0
		要約筆記派遣事業	0.0	0.0	0.0	0.0
日常生活用具の給付		0.0	1.3	1.0	3.8	
移動支援事業		10.5	22.4	7.7	19.2	
地域活動支援センター		1.3	9.2	1.0	12.5	
訪問入浴サービス事業		0.0	0.0	0.0	0.0	
福祉ホーム		0.0	1.3	1.0	1.0	
日中一時支援事業（日帰りショート）		9.2	11.8	4.8	15.4	
パソコンサポーター		0.0	6.6	0.0	8.7	
障害者スポーツ教室		6.6	25.0	5.8	29.8	
中途視覚障害者緊急生活訓練事業		0.0	2.6	0.0	1.9	
重度障害者大学等進学支援事業		0.0	1.3	0.0	1.0	
重度障害者等就労支援特別事業		0.0	0.0	0.0	1.0	

*の障害福祉サービスは、R7は20歳未満（n=38）、R4は18歳未満（n=69）の回答です。

【難病患者】

		R7 (n=200)		【参考値】 R4 (n=193)		
		利用状況	利用予定	利用状況	利用予定	
		利用している (%)	利用したい (%)	利用している (%)	利用したい (%)	
障害福祉サービス等	介護給付	居宅介護（ホームヘルプ）	5.0	6.0	11.9	11.4
		重度訪問介護	1.5	2.0	3.6	3.1
		同行援護	2.0	1.5	1.0	2.1
		行動援護	0.5	0.5	2.1	2.1
		重度障害者等包括支援	1.0	1.0	1.6	2.6
		施設入所支援	0.0	1.0	5.2	2.6
		短期入所（ショートステイ）	1.5	3.0	3.6	8.8
		療養介護	0.5	2.0	1.6	2.6
		生活介護	1.5	1.0	7.3	4.1
	訓練等給付	自立生活援助	2.5	3.0	4.7	5.7
		共同生活援助（グループホーム）	0.0	2.0	3.1	4.7
		自立訓練	6.5	5.0	5.2	9.3
		就労移行支援	2.5	9.0	2.6	6.2
		就労継続支援	10.0	10.0	9.3	9.8
		就労定着支援	1.0	4.0	1.0	6.2
	通所支援 障害児	児童発達支援 *	0.0	0.0	0.0	0.0
		放課後等デイサービス *	0.0	0.0	0.0	14.3
		居宅訪問型児童発達支援 *	0.0	0.0	0.0	0.0
		保育所等訪問支援 *	0.0	0.0	0.0	14.3
	支入所 障害児	福祉型 障害児入所施設 *	0.0	0.0	0.0	0.0
		医療型 障害児入所施設 *	0.0	0.0	0.0	0.0
	支相計 援談画	障害児相談支援 *	0.0	0.0	14.3	14.3
		計画相談支援	10.0	9.5	17.1	15.5
	支相地 援談域	地域移行支援	0.0	1.5	1.6	4.1
		地域定着支援	1.5	2.5	3.1	8.8
	地域生活支援等	成年後見制度利用支援事業	0.0	1.0	1.0	5.7
		手話通訳派遣事業	0.0	0.5	0.0	0.5
要約筆記派遣事業		0.0	0.5	0.0	0.0	
日常生活用具の給付		4.0	9.0	14.0	14.5	
移動支援事業		0.5	1.5	3.1	8.8	
地域活動支援センター		1.0	4.0	0.5	6.2	
訪問入浴サービス事業		0.5	2.5	1.6	3.1	
福祉ホーム		0.0	3.5	0.5	4.7	
日中一時支援事業（日帰りショート）		2.0	3.0	1.6	6.2	
パソコンサポーター		1.5	2.5	1.0	5.7	
障害者スポーツ教室		0.0	3.0	0.0	5.7	
中途視覚障害者緊急生活訓練事業		0.0	0.5	0.5	2.6	
重度障害者大学等進学支援事業		0.0	0.0	0.0	0.5	
重度障害者等就労支援特別事業		0.0	1.0	0.5	1.6	

*の障害福祉サービスは、R7は20歳未満（n=9）、R4は18歳未満（n=7）の回答です。

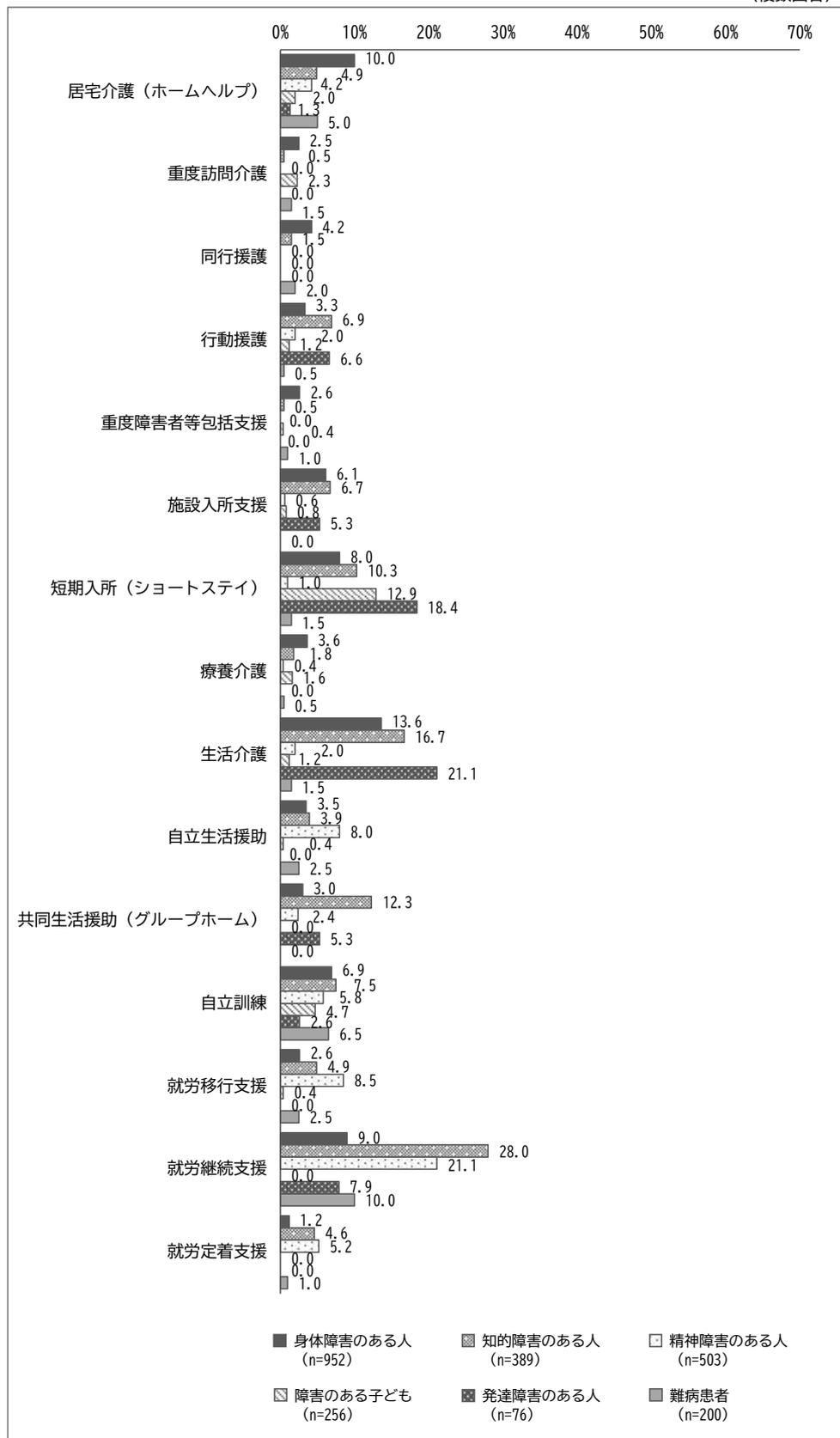
4) 障害福祉サービス等の利用状況及び利用意向の比較

①障害福祉サービスの利用状況の比較

障害福祉サービスの利用状況は、障害のある子どもを除く障害種別において「計画相談支援」の割合が最も高く、発達障害のある人で約6割となっています。また、知的障害のある人と精神障害のある人では「就労継続支援」の割合が2割台となっており、他の障害種別よりも高くなっています。さらに、障害のある人本人の年齢が低い傾向にある障害のある子どもと発達障害のある人では「放課後等デイサービス」、「障害児相談支援」の割合も高くなっています。

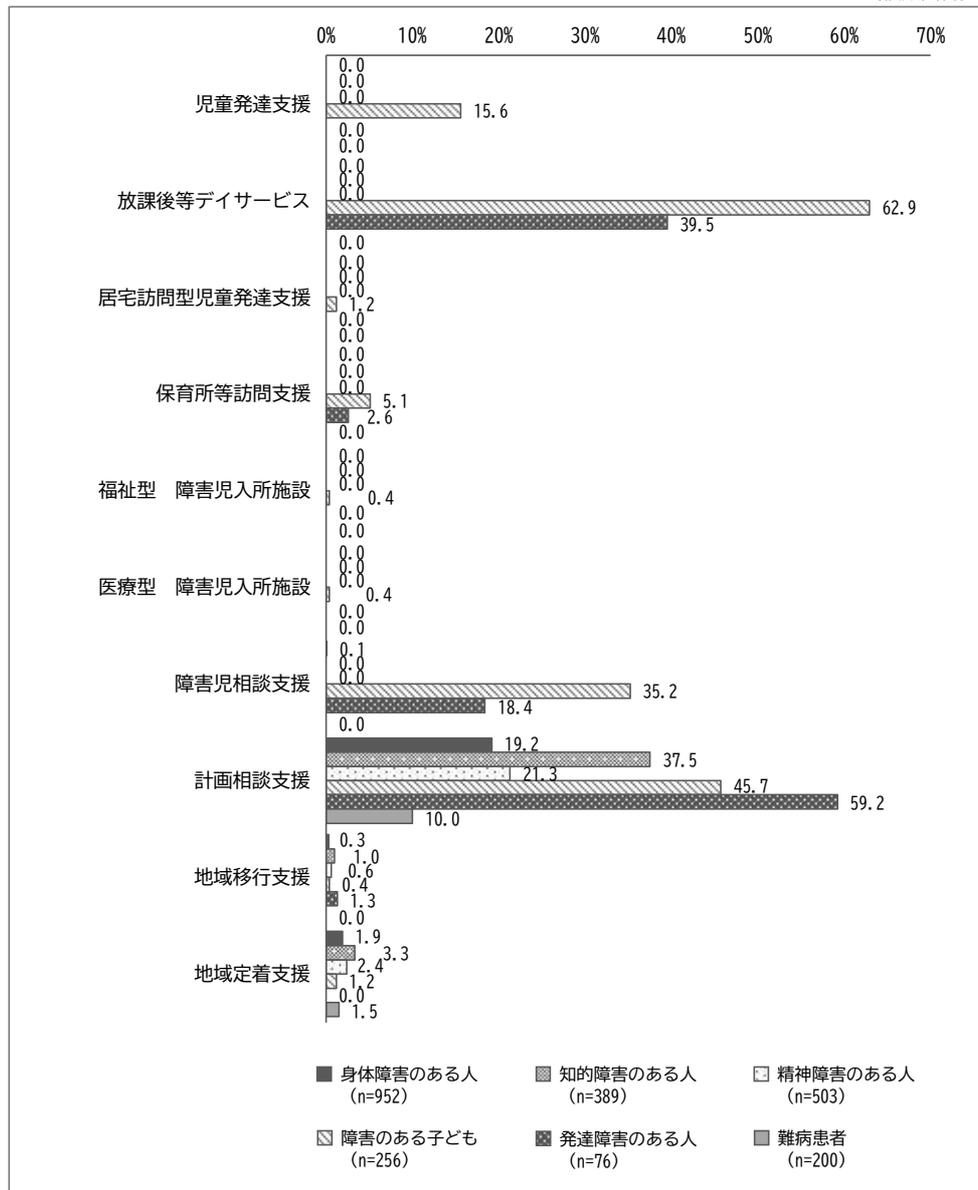
【障害福祉サービスの利用状況の比較（介護給付～訓練等給付）】

〈複数回答〉



【障害福祉サービスの利用状況の比較（障害児通所支援～地域相談支援）】

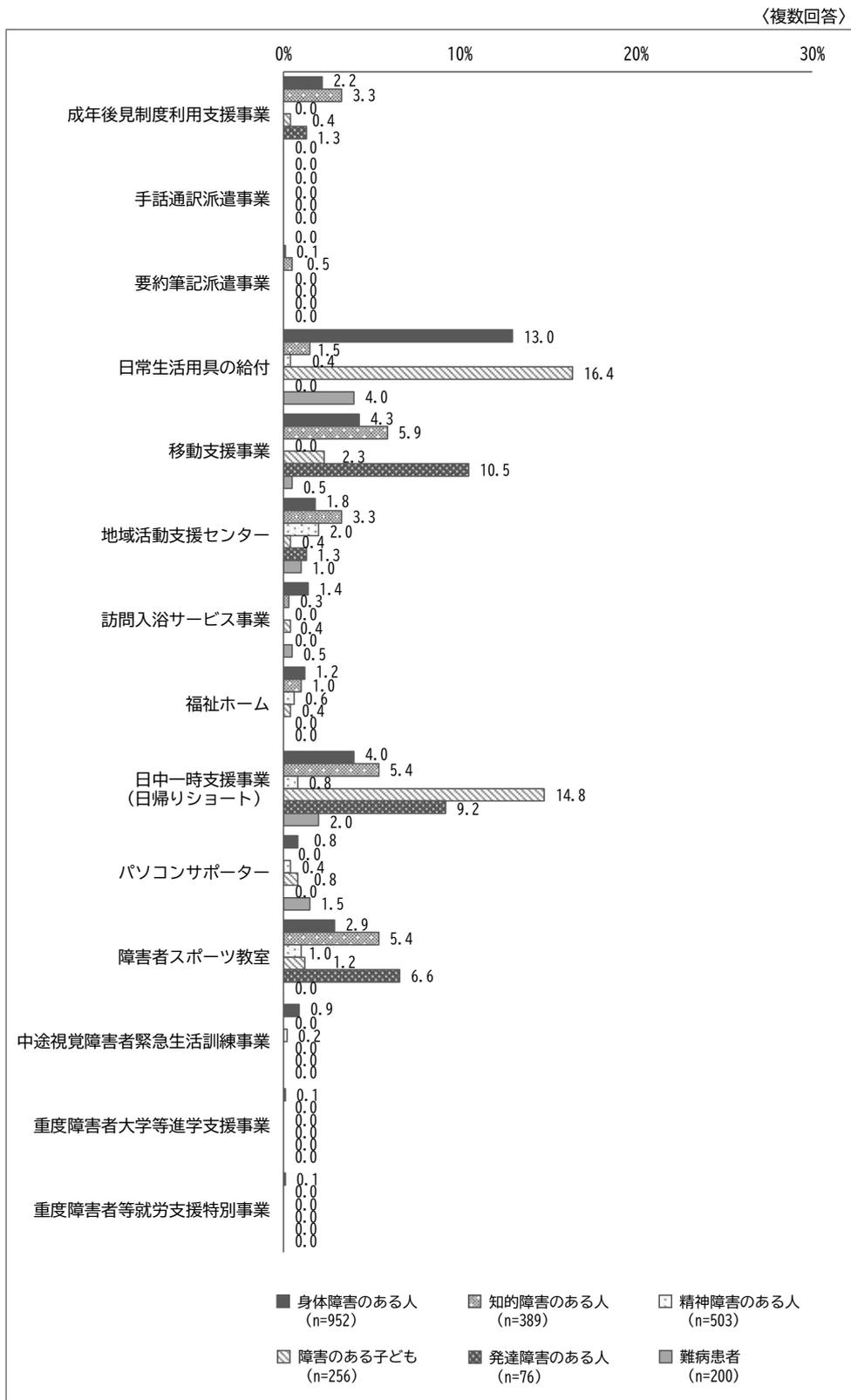
〈複数回答〉



②地域生活支援の利用状況の比較

地域生活支援の利用状況は、利用率は全体的に低くなっていますが、障害のある子どもで「日常生活用具の給付」「日中一時支援事業（日帰りショート）」の割合が1割半ば、身体障害のある人で「日常生活用具の給付」の割合が1割強となっています。

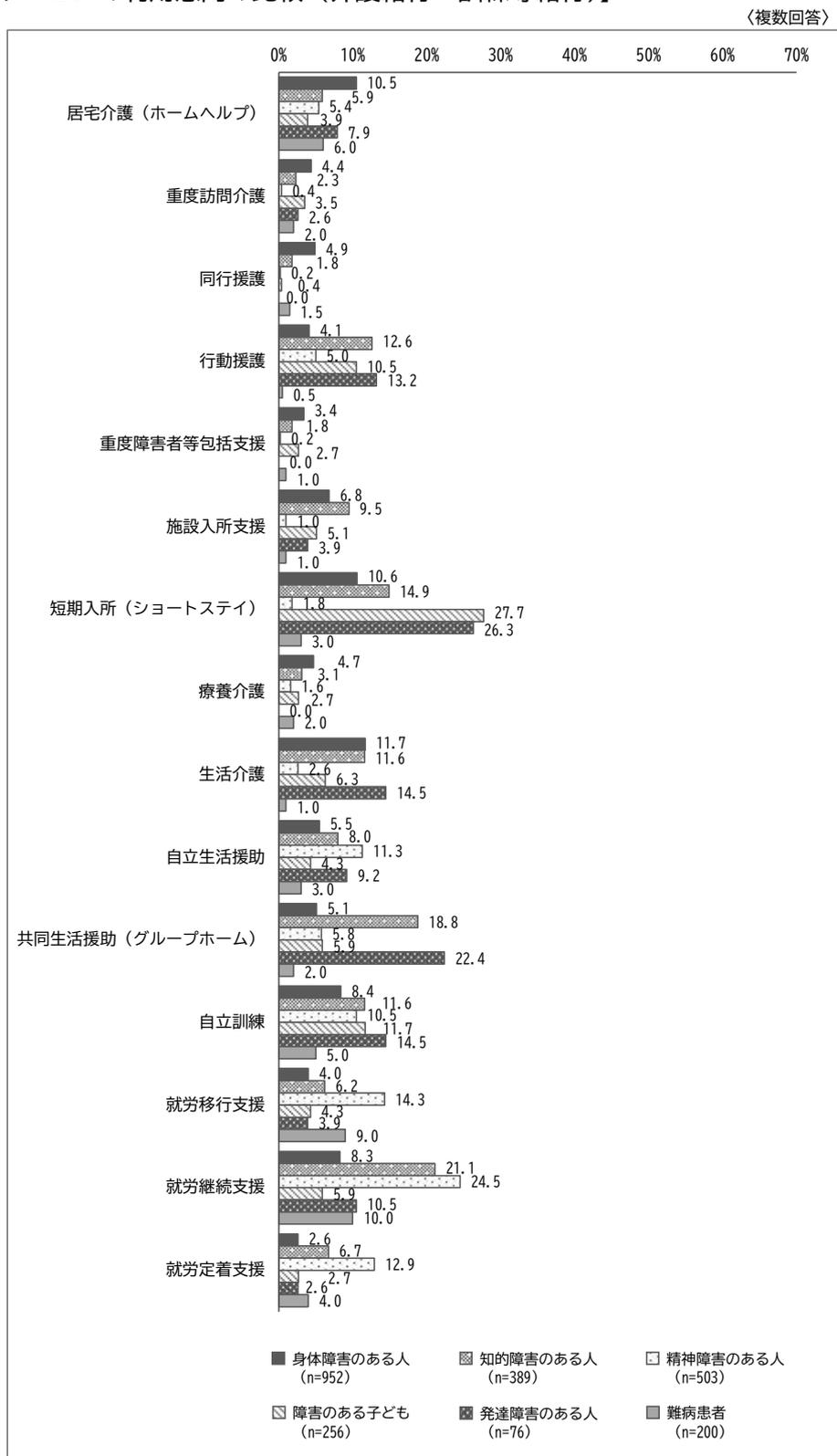
【地域生活支援の利用状況の比較】



③障害福祉サービスの利用意向の比較

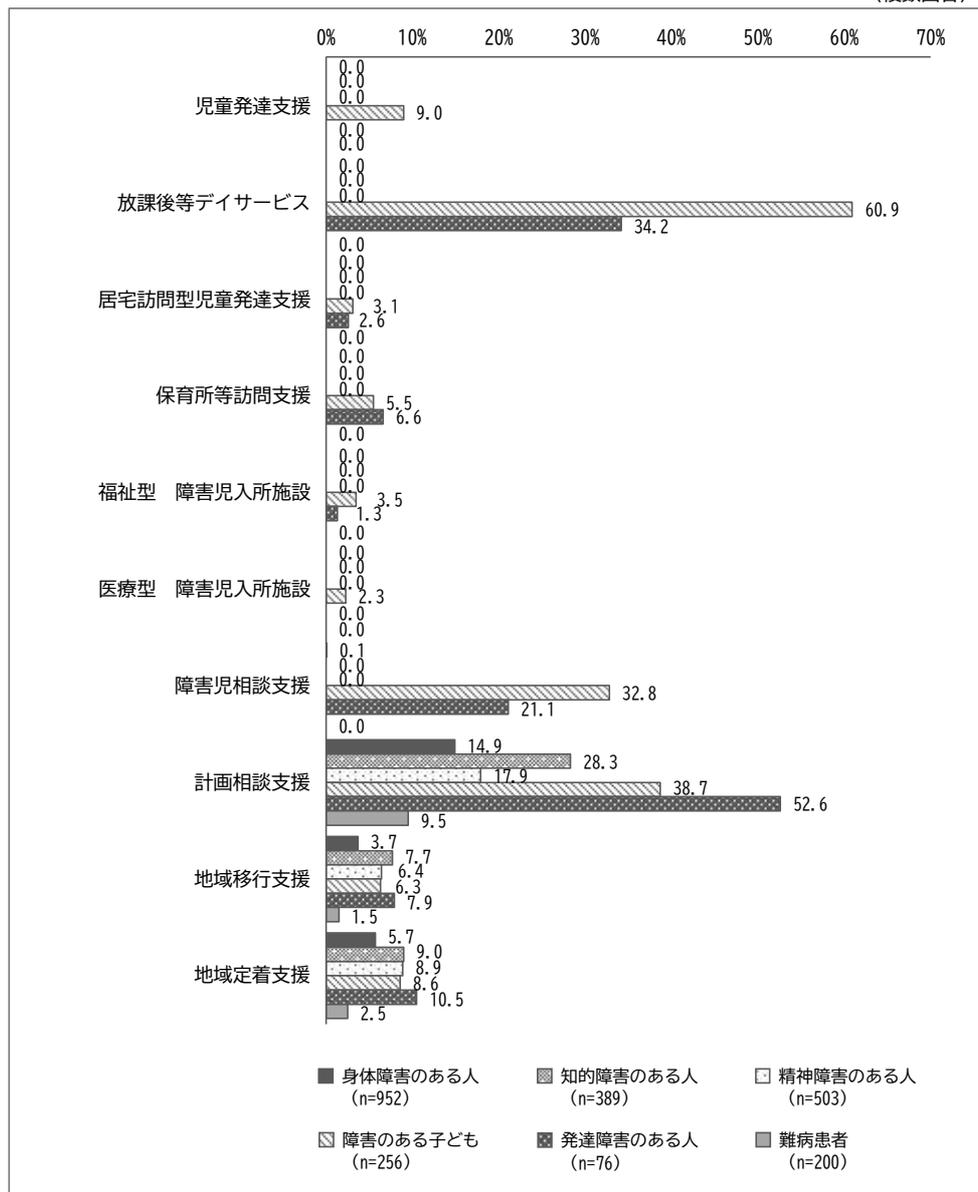
障害福祉サービスの利用意向は、利用状況と同じく「計画相談支援」の割合が高い傾向にあります。また、障害のある子どもでは「短期入所（ショートステイ）」、「発達障害のある人では「共同生活援助（グループホーム）」「自立訓練」において、利用率は低いものの今後の利用意向は高くなっています。

【障害福祉サービスの利用意向の比較（介護給付～訓練等給付）】



【障害福祉サービスの利用意向の比較（障害児通所支援～地域相談支援）】

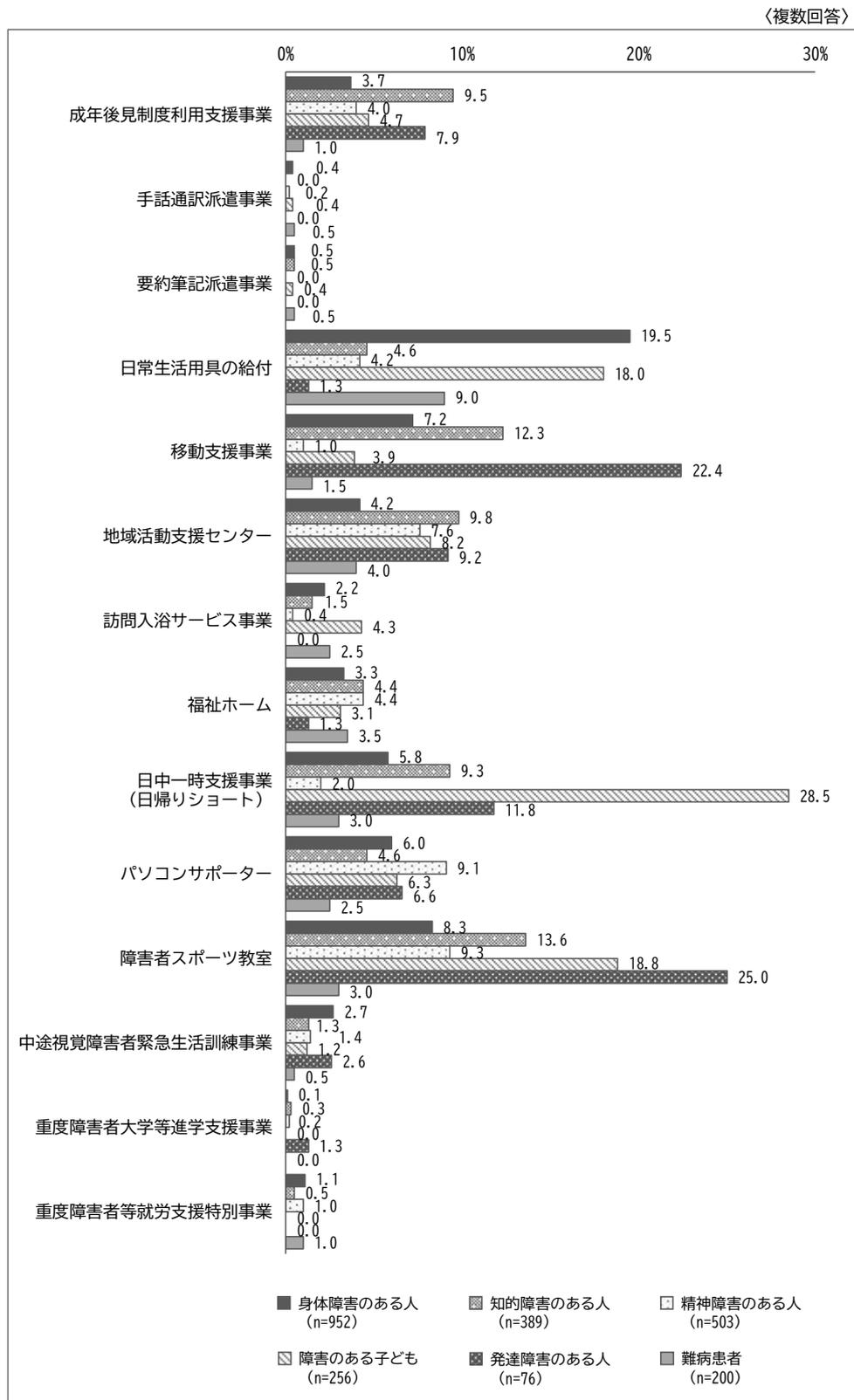
〈複数回答〉



④地域生活支援の利用意向の比較

地域生活支援の利用意向は、障害のある子どもでは「日中一時支援事業（日帰りショート）」、発達障害のある人では「障害者スポーツ教室」「移動支援事業」において、今後の利用意向が2割を超えています。

【地域生活支援の利用意向の比較】



5) 「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業」の利用について（身体障害のある人のみ）

「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業」の利用については、「利用したい」が3.9%、「利用したくない」が19.6%となっています。

【「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業」の利用について】

